(一) 日五月七年六正大 THE KEIJO NIPPO (日曜木) (可認物便郵種三第日八月九年二十四治明) (年中無休刊)

京城日報
夕刊
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

第卅九回特別帝國議會

衆議院（三日）

▲質問戰

三日の衆議院は決議案大論戰の後を受けたる質問日とて傍聽席も滿員の盛況にて午後一時開會横田千之助氏(政友)議事進行に關し緊急動議ありて登壇

『去る三十日の議場にて尾崎行雄氏が後藤内相に對し獨探の手先との言辭を發せしは不當の言なれば取消され度し』と要求す

▽尾崎行雄氏 登壇『本員の言論は過激の嫌ひなきにあらざるを認むされど是れ議場の空氣熾熱せる結果に出で他意あるにあらず併し國務大臣の言動にも議長及び議員の言動に於ても批議すべきものあるを感せずんばあらず』とて獨探が流布せる事を後藤男が承け繼ぎて是を公にせしは獨探と云ひて可なりと取消を峻拒す横田千之助氏は『後藤男に其事實あらば他に表明するの途あるべし』となし議場の喧囂裡に採決を宣し記名投票の結果

投票總數二百九十票
取消すべしとなすもの　百九十二票
取消すべからざるもの　九十八票

茲に於て大岡議長は尾崎行雄氏に對し取消を命ず

▽尾崎氏 は『院議を尊重し自己の意志に反してまでも服從し來りしが今の取消命令は議院法又は議事規則の何條に依りて發せられたるか』

▽大岡議長 『議院の決議權に依り取消を決議し議長之れを執行す』

▽尾崎氏 『依るべきの正條なくば院議に服する前熟考の期間を與へられ度し』

とて尾崎氏と大岡議長との間に應答數次横田氏より『尾崎君が議長の命に服せざれば宜しく懲罰に附すべし』と提議し議長は勵聲三度び尾崎氏に取消を命ず

▽尾崎氏 は自席より『多分法律に違反せざるべしと考ふる他日法律に違反せるを發見せば議長は之に對して議宜の處置に出づべし故に余は條件付にて之を取消す』

と述べしも政友會側は『取消』を連呼し憲政會側之に應じて怒罵し喧囂數次、大岡議長は憤し宣告す、時に二時三十分なり午後三時四十分再開尾崎氏登壇

▽尾崎氏 『余の取消の發言に對し徹底せざりしとの議あれば手續上不滿なるも改めて茲に取消す』

と述べ退壇するや森田茂氏(憲政)新たに緊急動議を提出すべく登壇

▽森田茂氏 『三十日不信任案討議の日後藤内相は尾崎君に對し破廉恥なり非國民なりと云ひしは國務大臣として爲すべからざる言なり即ち院議を以て是が取消を命じ度し』と述ぶるや

▽後藤内相 登壇、『余は破廉恥、非國民の言辭は其當時より取消居れるも森田君の要求に對しても亦喜んで取消すべし』と云ひ

▽森田氏 自席より『後藤内相既に恭順の意を表して取消せる以上余も動議を撤回す』

と一段落を告ぐるや政友會の鵜澤聰明氏緊急動議を提出す可登壇

『寺内首相並に本野外相に對する質問は提出者樋口秀雄君に於て撤回すべしとの動議を提出す是れ其の趣意書に見て質問の内容が前議會に於ける秘密會議の内容に亙る故なり』

と述ぶるや樋口氏より此動議に反對し議場騷然たり

▲東拓法審議

東拓法案は三日午前九時開會、小林藏氏(政友)の質問に對し

▽本野外相 『米國へは條約に依り移民を送る方針なるも南洋其他へは穩健なる方法にて移民獎勵となすべし滿蒙へは歷代内閣の方針に基き多數の植民を送らんとす』

更に高橋本吉氏(政友)より滿蒙に於ける利權、外務省の監督の諸件に就て質問せるに對し

▽本野外相 『滿蒙統一機關の設置計畫は未だ發表の自由を有せず』

と答へ牧山耕藏氏(政友)朝鮮統治上に關する希望及び滿洲に於ける朝鮮人の現狀を述べ同地三十萬人の鮮人が支那に歸化せる事實に就き前後の事情及び監督上の責任其他朝鮮民間の諸國人が朝鮮統治を妨害せる事實を列擧して質問し

▽本野外相 『露國に於ける日本國籍を有せる鮮人の保護は充分是をなせり』

と述べ尚此件に關し十時半より十分間の秘密會に入り再び開會、加藤定吉氏(憲政)より今回の改正案の内容が前内閣の滿蒙銀行と其性質を同じうするは如何と質すあり之に對し

▽勝田藏相 『東拓は不動産に對する金融機關たるに於て又金融機關にして企業機關たるに於て然も會社自ら之を經營するの働きを有する如き滿蒙銀行に比し顯著なる進歩なり』

と述べ更に清浦太郎氏(政友)より東拓重役總裁の人物に對する希望ありしも藏相は『目下の處其變更を必要とせず』と述べ更に東拓本社を東京に置く必要ありやとの質問に對し『中央との交渉上之を置くを便宜とす』と述べ正午過ぎ散會せり(東京特電)

□不良延著 右以上は四日附朝刊に掲載の答なりしも別項の通り電信線不良の爲め延著せしものなり

支那の形勢

◎支那復辟と帝國態度

本野外相の議會聲言

三日午後三時開會の衆議院豫算分科會にて望月小太郎氏(憲政)の質問に對し本野外相は左の如く述べたり

支那の復辟は何人も意外とする處なり然れども我邦は傍觀の態度に出ずべし(東京特電)

▲梁敦彦氏就任挨拶

梁敦彦氏は二日午後各國公使を訪ひ外務省長に就任の挨拶をなせり(北京特電)

▲和蘭公使の黎氏訪問

黎氏の安全を保證し治安の保持を求む

外交團會議の結果を齎し和蘭公使は外交務省長梁敦彦氏を訪ひ黎總統の安全を保障し北京の治安を保持せんことを求め梁敦彦氏は承諾の旨公言せり(北京特電)

▲黎總統避難

裏門より自動車にて我公使館に來る

黎總統は二日午後十一時白の詰襟服を著け侍衛武官湯少將劉秘書等と共に自動車にて裏門より總統府を脫け出し日本公使館に齋藤少將を訪ひ日本政府の保護を求むる處あり林公使は國際上の慣例を重じ之を快諾し兵營内の將校宿舍樓上に收容し館内に緊急協議を開けり是は黎總統の自發的意志に由れるものにて日本政府の態度は受動的なり清國政府は黎總統の脫出を知り徹夜非常線を張りしも得る處なかりき黎氏は精神過勞の爲少しく健康を害し軍醫の診察を受けたるが食事は洋食を採り三日朝は安靜なり(三日北京特電)

▲日本公使館の發表左の如し(北京電報)

黎總統は二日夜九時半何等の通告なく日本公使館に來り保護を求めたるより國際の通義に顧み保護をなすことに決し公使館の兵營内に收容せり日本は黎元洪氏が公使館内にある間は絕對的に政治的行動を許さゞること勿論にして既に張勳氏及び各國公使に之を通告せり

▲北京外交團時局會議

二日午前十一時より和蘭公使館に日、英、米、佛、露、伊其の他各國公使參集し時局に就き協議せり(北京特電)

◎張作霖氏の態度

姑らく形勢觀望の態

復辟斷行に對する奉天督軍張作霖氏の態度に付或る筋のへ入電によれば同氏の態度は未だ全く明確を缺ぎ目下張勳氏より復辟斷行の通電を受けたる時は更に角脫電を發し贊意を表せしも如く見ゆれども其の内心は必らずしも然らず元來今回張勳氏は宣統帝冊立に就て各省督軍との間に意思の連絡及び合縱は之れを缺ぎ居るもの、如く從って各省督軍も其の去就に迷ひ居る觀あり張作霖氏も同じく其の一人にて一日以來切りに各省督軍との間に電報を交換し其の態度の宣明に付協議中の模樣なるが要するに氏は日本政府の態度如何を觀望し更に支那の大勢が復辟に傾くに至らば宣統帝擁立に力を盡くすべきも共和制維持有力なるに至らば又其の態度を持すべき形勢にありと云ふ

◎政務總監訓示

山縣政務總監は四日午後四時より目下會議の爲め入京中の各郵便局長、海事出張所長、郵便所長一同を總督官邸に召集し總督に代りて通信事務上の心得に關し一場の訓示を爲し終りて茶菓を饗應したるが持地遞信局長以下同局各課長總督府官房局課長等列席したり

◎遞信會議終了

遞信局に於ける主要郵便局長海事出張所長技師會議は三日を以て日程を終了したるが四日は午前より午後に亘り會議出席者は各課及び係に付諸事務の打合せをなし午後三時より總督府に出頭總督の訓示を受けたるが五日は持地遞信局長官より一場の指示を與ふべしと

◎內地行貨物停滯と輸送

三木鐵道局營業課長談

朝鮮及び安東發內地行連絡貨物の一掃期に付ては既に發表せし通り三月末日迄に託送申込の本州行在荷一萬三千三百六十一噸は五月下旬迄に又四月十日迄に申込の九州行在荷九千二百六十七噸は六月下旬に至らざれば一掃し能はざる豫定の處關釜間輸送成績の良好と申込數量に異動ありし爲豫定期を待たずして一掃せられ目下右以後に於ける申込のものも順次輸送しつゝあり最早出荷期も經過し今後甚だしき停滯を見る事なき見込なり

▲關釜間連絡船 は本月一日以降晝夜二回の定期便のみとし臨時貨物船として備船し居たる御獄丸は六月末日限り一と先運航廢止する事となれり尤も本月中旬頃定期船の內に不定期船を爲し三回臨時便運航の豫定なるも時恰も雨期に入り風雨濃霧等運航上の支障尠からざるに依り七月中の

▲關釜間輸送力 は釜山自發を除き本州、九州を合し一日平均四百噸見當に過ぎず而して本月一日の現在申込に係る鮮鐵各驛及び安東の停滯貨物は本州行一萬九百噸、九州行五千四百噸、合計一萬六千三百噸外に東清南滿奥地よりのもの一日八十噸宛あり之れに對し毎日本州行十車二百二十二噸、九州行五車百十四噸、東清、南滿發三車、八十噸、計四百十六噸宛輸送し

▲一掃豫定期 を打算する時は八月中旬となる勘定なるも申込數量は從來の例に徵するも多少異動ある爲關釜間の輸送力に大なる故障なき限り豫定よりも早く一掃し得らるべし內地連帶貨物の輸送方法は前述の如くなるが朝鮮內發著貨物には差したる停滯なく引續き臨時列車を運轉し順調に輸送を爲しつゝあり

◎漢江鐵橋進捗

目下漢江に架設中の鐵橋は工事著々進捗し來る九月內には立派に竣功せしむる計畫なるが第一橋梁は板張りを終りて欄干並に石門を取り付けつゝ第二橋梁も板張に取り掛り居れり尙鷺梁津の水源より京城の一部即ち龍山方面に使用に供する爲め水道管を引入るゝ計畫にて其水道管は鐵橋の下に設備する筈なりと

◎電線故障頻々

著信の遲延免れ難し

三日夕刻來の豪雨にて各方面の被害少なからざる模樣なるが電信線の故障及び不通は左の如く當局にて鋭意復舊に努力中なるも其の整備まで電報著信の遲延は免れ難かるべし

▲東京大阪線故障 京城東京線及び京城大阪線は最も重要の電信線なるが四日朝來朝鮮內全義鳥致院附近にて故障不通となりたるに付當局にては臨機の處置として京城釜山間の他の電信線を使用し釜山以東は本線により送受しつゝあり從って大に電報の輻輳を來し居れり

▲鮮內各電線不通 京城大田間一番線及び二番線は四日午前二時より三時迄の間に又仁川木浦線並に京城忠州線及び京城光州線は同日午前八時五十分前後より不通となりたるが木浦線を除く外の三電信線は何れも天安全義間の障碍によるもの、如しと

◎憲兵隊異動

六月三十日附辭令を以て朝鮮駐箚憲兵隊に左記の如く異動ありたり

憲兵大尉 林國太郎 全州憲兵隊附を免じ義州憲兵隊附を命ず
憲兵大尉 泊定吉 京城憲兵隊附を免じ義州憲兵隊附を命ず
憲兵中尉 齋藤安二 大尉に進級し咸興憲兵隊附を命す
憲兵中尉 飯沼延夫 大邱憲兵隊附を免じ全州憲兵隊附を命す
憲兵中尉 谷頭和夫 鏡城憲兵隊附を免じ大邱憲兵隊附を命す
憲兵中尉 次田的次郎 鏡城憲兵隊附を免じ京城憲兵隊附を命す
憲兵中尉 青田竹次 大尉に進級し全州憲兵隊附を命す
憲兵中尉 中山菅佐 大尉に進級し大邱憲兵隊附を命す
憲兵中尉 池田留吉 春川憲兵隊附を命す
憲兵中尉 丹羽米次郎 全州憲兵隊附を命す
憲兵中尉 萩野原茂夫 大邱憲兵隊附を命す

◎鮮銀總裁歸期遲延

東上中の美濃部鮮銀總裁は決算締切前歸任の筈なりしも未だに其模樣なきは行務の關係と東京駐在理事木村雄次氏が微恙のため對外活動を控へ目とせざるを得ざるため勢ひ總裁の歸鮮延引となり居るもの、如きが但し八月中旬の株主總會開會まで滯京を續くる如き事は萬なかるべく何れ近く歸京の事とならん

◎李北長官出京

全北道長官李軫鎬氏は公務を以て三日付出京を命せられ近日入京の筈

◎三島理事の容體

京都帝國大學醫科大學病院にて病氣の診察を受けし鮮銀理事三島太郎氏の容態を聞くに松浦博士の精密なる檢診の結果重症ならざるも膽石と確定し必らずしも切開手術を要せざる程度のものにて其の快癒も遠からざるべしとの事なり

◎鐵道局清津出張所長

鐵道局の清津出張所長新田留次郎氏は本局勤務となり同出張所勤務技師加賀種二氏所長心得を命せられたり

◎鮮人留學生表彰

朝鮮人留學生中左記の者は何れも思想穩健品行方正本學年の試驗に於て何れも優等の成績を擧げ進級若くは卒業したるものにして他留學生の模範たるものと認め其筋にては賞品として大々的數與金を授與せりと

總督府官費留學生東京府立工藝學校生徒 金文鉉
同愛知縣立安城農業學校卒業 申永林
私立名古屋中學校生徒 劉恒烈
奈良縣立農林學校卒業 尹□淮
初瀬尋常高等小學校生徒 李敬頤(女)
三谷尋常高等小學校生徒 黃奉敬(女)
佐賀縣唐津中學校生徒 鎭金石
私立錦城商業學校生徒 朴永詰
私立成城中學校生徒 河殷燮
野下尋常高等小學校生徒 李永智
私立八代技藝女學校卒業 金セシリア
麻布尋常小學校生徒 殷淑子
大阪府立八尾中學校生徒 李允贄

◎米國獨立祭祝日

四日は北米合衆國獨立記念祭日に相當せしも目下戰時中並に總領事ミラー氏歸國不在中の爲め祝賀を受けざる旨總督府其他關係者等に通牒したりと

◎段氏の復辟反對通電

段祺瑞氏は復辟反對の通電を各省に致すと共に三日夜浦江に向け出發せり(北京特電)

◎倪張等の張勳討伐

各省に移檄奮起を促す

倪嗣沖、張懷芝氏等は張勳が名を調停に借り黎總統を壓迫し突如恣に復辟を斷行して民國を轉覆せるに憤慨し南方各省に檄を飛ばして其奮起を促しつゝあり近く張勳討伐の兵を北京に送るべしと(上海電報)

◎黎總統退職決心か

玉璽を副總統に渡す

黎總統は危機愈々身邊に迫れるを看取するや日本公使館に避難する以前總統退職の決意をなし潛かに使者をして玉璽を副總統馮國璋に引渡さしめたりとの說あり(北京電報)

◎補缺戰激烈か

仁川商業會議所議員補缺選擧は愈々二十五日仁川商業會議所に於いて執行せらるべく補缺議員は二名なるに候補者として名乘りを揚げたる者は内地人側に矢上丑之助氏、野口平一氏、末永清三氏百三十銀行仁川支店の外市民の商議々員選擧に冷淡なるに憤慨して立ちたる仲買人の今村榮次郎氏を加へて五名となりたれば期日切迫と共に勢ひ混戰は免かれざるべし(仁川)

◎全北輕鐵開通

六月二十七日來豪雨の爲め運轉休止中の全州裡里間輕鐵は同三十日より開通せり

◎鴨綠江流筏狀況

營林廠流筏の狀況を聞くに本年度は鴨綠江流域に於て約三十六萬尺締を流下するの豫定にして既に續々著筏しつゝあるも上流地方は渇水甚しきと新來乘夫中には鴨綠江に不慣のものもある爲め昨年の當時に比すれば著筏少き方にして六月二旬迄に北下洞貯木所の著筏數を見るに昨年は流筏豫定數二十二萬尺〆に對し五萬九千尺〆にして本年流筏豫定數三十六萬尺〆に對し僅に四萬六千尺〆に過ぎずと謂ふ支那側流筏數も亦昨年の半數にも達せざる由に付若此の儘にて繼續し雨季に際し俄に洪水にてもあらば今年度の著筏は著しき打撃を蒙り延いては原木の缺乏を來し材價に一大變調を起さゞるやと憂慮せる向もありて木材業者間には將來を見越し遽に需要を喚起し居れりと(新義州)

人事消息

▲中西要久兵氏(平安農工銀行員) 四日朝入京不二火旅館へ
▲齋藤喜兵衛氏(大阪貿易商) 同天眞樓へ
▲小磯元司氏(鎭南浦久原製鍊所長) 三日退京
▲中村彌六氏(林學博士) 三日入京浦尾旅館へ

◆日本公使館に投ぜる黎元洪氏と總統府

豪雨＝京釜線の不通

▲沃川大田間と鳥致院全義間▲列車顚覆す▲長春行列車の立往生▲釜山行列車も同樣▲救援列車の出動

京釜線豪雨出水の爲め沃川大田間及び鳥致院全義間鐵道破壞し列車顚覆して交通全く杜絶したる爲め四日午前九時南大門驛著の釜山發長春行急行列車は沃川驛に立往生を爲したるを以て長春行列車は南大門驛より特發して午前九時二十分の定時に出發したり猶四日午前八時三十分南大門驛發の釜山內地方面行急行列車は定時に南大門を發し全義驛迄南行し同驛に停車して開通を俟ちつゝあり鐵道局建設課にては四日午前多數の人夫及び急施工事材料を滿載したる救援列車を發し全力を擧げて復舊工事を急ぎつゝあり

▲郵便と內地客 四日午前九時南大門驛著內地及び釜山大邱方面よりの郵便物及び新聞は別項記載の如く京釜線水害不通の爲め不著又內地便は荷客共に三日午後八時三十分釜山入港連絡船渤海上濃霧にて不接續なりし爲め水害の爲め沃川に停留中なる四日午前南大門著の急行列車には積載せず四日午前八時三十分南大門發釜山大邱及び內地行郵便物は釜山行急行列車に積載して之れ又全義に於て開通を俟ちて連絡する筈也

▲開通の見込 鐵道局及び郵便局員の談に由れば水害不通の兩區間は四日午後五時頃迄に開通の見込みなりと（鳥致院特電）

▲大沃間開通す 大田沃川間の鐵道は四日午前十一時三十分に至り復舊開通し北行列車は午後一時頃鳥致院驛迄徐行し來り同驛に於て鳥致院全義間の復舊工事を俟てり

▲安城川決潰 京畿道安城川にて四日午前四時頃濁流の爲め堤防決潰し沿岸農家四十戶浸水したるが人畜に死傷なく午前十時頃漸次減水しつゝあるより里民出動して應急修理を爲し居れり（北部特電）

▲義城の出水 慶尙北道義城郡義城邑內は三日來の豪雨にて洛東江支流の氾濫を蒙り邑內全部浸水を受け各地への交通は全然杜絶し邑內住民は極力警戒中なるが義城郵便局の如き事務室檐下まで浸水し附屬舍の一部も亦浸水の厄に遭へり（義城電報）

ヌクテ錦山に現る

[illegible]擧げたるを聞きつけ附近民多數早速現場に馳せ集りたる爲め件の豺は其[illegible]

◆鳥致院に浸水＝交通杜絶＝

三日午後八時頃より猛烈なる豪雨あり四日午前二時頃錦川の增水九尺に及び淸州公州間の交通杜絶し新設市場の道路は殆んど浸水するに至れり尙新市場は川水堤防を越ねて氾濫し來り浸水家屋約二十戶に達せり四日午前二時半頃より漸次減水を見るに至り市民は漸く安堵の胸を撫で下したるが一時は日鮮の消防隊を總出し防水計畫に努めたり亦全義方面は憲兵派遣所の浸水一尺以上を始め約百五十尺の浸水家屋を出すに至れり

▲淸州も大出水 溪川の增水九尺に及ぶ

當地方は稀有の大雨にて鳥致院、全義間及び大田沃川間は交通全く杜絶し今の處復舊の見込み立たず淸州方面よりの消息に由れば之れ亦非常の出水にて市場附近は浸水四尺に達し浸水家屋甚だ多し（鳥致院特電）

▼浸水家屋二百 忠北淸州にては浸水家屋二百十六戶に達し猶ほ鳥致院、芙江、忠州、報恩驛の各地へ交通杜絶し附近橋梁の流失したるもの三箇所あり（北部特電）

◆汽車顚覆、火夫慘死

鳥致院附近にて＝乘客無事

三日午後十二時頃より漸く危險の度を加へ四日午前〇時五十八分當驛通過釜山發南大門行混合列車は鳥致院驛を距る約一哩の地點にて汽罐車一輛貨車一輛顚覆客車一輛脫線したり其の際同列車乘務中の火夫柿原滿盛（二六）は汽罐車と石炭車との間に狹まれて慘死を遂げ外乘務員中に一名の傷者を出したるが幸ひ乘客は無事也（鳥致院特電）

●一坪に一石四斗の雨

◆一日の降雨量一箇月分を超ゆ

前月中の朝鮮の降雨量の少なかりしは十年來其の例を見ざる處にして一ケ月の總雨量僅かに七十二ミリメートルにして從つて甚だしき旱魃を告げたるが今月に入りては

▼其の反動と 例年の降雨期の爲めに連日降雨を見るに至り殊に三日午前より北滿洲及び山東省方面より進行し來りし深厚なる低氣壓は三日午後より四日午前に至り

▼朝鮮半島を 挾み其の中心示度は各七百四十六ミリを示し四日午前に至り其の南なるものは京畿道沖合に在り北なる低氣壓は國境附近に殺到し來れり之れを以て

▼三日午後よ り京城附近及び京釜沿線に豪雨あり京城にては三日午後五時より七時迄の二時間の降雨量六十ミリメートル四日午前迄の降雨量は合計七十七ミリメートルにして

▼二十四時間 の雨量は六月一箇月の全雨量を超ゐたり卽ち三日午後より四日午前中の京城の降雨は一坪當り一石四斗一升に當り其他の地方は

▼何れも京城 より小雨にして仁川の三十ミリ餘、洪陵三十ミリ元山十七ミリ平壤十二ミリ龍岩浦十ミリにして滿洲地方は引續き降雨少[illegible]

▼京畿道附近 に在る低氣壓は四日午後に至るも運動遲々しからず溫度の如きも四日午前は平年十九度なるを本年は二十三度の高溫を示したるを以て猶四日五日は降雨以後一兩日は晴天なるべし（京城測候所長談）

▲櫻井町の浸水 京城にては三日午後九時頃櫻井町一二丁目にて床下に浸水したる家屋十七戶ありたり

▲龍山浸水家屋 龍山にては三日午後の豪雨にて床下に浸水したるもの十數戶ありしが別に被害なかりしと

▲豪雨中に卒倒 三日午後八時頃京城黃金町一丁目山本伊三郎妻いす（三七）は南米倉町の親戚の家より歸途豫て病氣衰弱の身とて折柄の豪雨の爲め南大門通米倉町停留場附近の電車線路內に打倒れ人事不省に陷り居るを警官が救助して家人に引渡す

▲被害少し 三日午後長谷川町大觀亭の石垣僅かに崩壞せるのみにて市內に於ては其他に異狀なかりしと

▲漢江增水二尺 漢江は龍山元町四丁目下に於て四日正午頃二尺の增水を示したりしが上流地方の豪雨あり爲め尙幾分增水すべき模樣なりと

▲上流增水 四日午前八時驪州に於ける漢江の增水は十二尺に達し尙漸次增水しつゝあり（驪州特電）

▲暴風警報（四日午前九時二十分仁川觀測所發） 風雨強かるべし低氣壓は黃海中部にありて七百四十六粍を示し東方に進行中黃海道、全羅南北、京畿、忠南、慶尙、江原道の沿岸及び內陸を警戒す

▽北部にも有（四日午前九時三十分仁川觀測所發表） 風雨強かるべし低氣壓は黃海の北部にありて七百四十六粍を示し東南東に進行中咸鏡南北道沿岸及び內陸を警戒す

◉連絡船の假泊 ＝玄海濃霧の爲め

三日夜釜山に入港す可き連絡船高麗丸及び四日朝の新羅丸は濃霧の爲め港外に假泊し居れり四日午後二時迄には入港の見込なり（釜山特電）

▲連絡船不接續 別項所載の如く鳥致院に於て開通を俟ちつゝある三日午後十一時釜山發列車には同夜連絡船不接續の爲め普通四日午前九時南大門著の內地よりの旅客は乘り込み居らず

◉豹氣長に歸りを待つ

須磨にて逸走せし豹は未だ發見せず氣長に待つこととなせりと（大阪特電）

◉河內師團長（負傷）

三日河內第二師團長は[illegible]重輕傷を負へり（仙臺電報）

▲別報 第二師團長河內禮藏中將は演習中落馬し顏面其他に重輕傷を負ひしも生命には別條なしと（東京電報）

◉小學生に有害 活動寫眞を禁ず

岡山市にては小學生に有害なりとて活動寫眞の觀覽禁止の注意書を四日發表せり（大阪特電）

◉女鍼灸師の縊死

三日午後二時頃京城黃金町三丁目居住大分縣大分郡東大分生れの鍼灸業利光きく（五〇）は家人の不在中自宅四疊の室にて梁木に麻繩を懸けて縊死を遂げ居るを程經て歸宅したる同居人廣畑その（三）が發見し急報に依り本町署より警官警察醫出張檢視せしが既に縊切れ居り屍體は同居者伊藤公夫に引渡せり原因不明なるも一通の遺書ありたりと

◉『六月十八日聯隊』と稱す

露軍の攻擊開始を記念する爲め

某方面に於ける露軍は露曆六月十八日より獨墺軍に對し頗る猛烈の攻勢を續けつゝあるが該攻擊の開始を記念するため其の參加の一個聯隊は六月十八日聯隊と稱するに至れり（哈爾賓發東京電）

◉實父の大金を拐帶して五十女と驅落

三重縣鈴鹿郡龜山町宮崎駒太郎（三七）は六月二十四日實父藤八の現金八百五十圓を拐帶し豫て關係しゐたる同町の伊東うね（五〇）と相携へて鄕里を出奔し大阪を經て渡鮮しうねの娘の緣先なる朝鮮銀行員にして旭町居住の大辻某方に潛伏中を探て父より搜索願ひを提出しありし爲め搜索中なりしが七月一日本町警察署の手に發見され兩名は召喚の上嚴戒を受けしが現金は大部分消費したる模樣にて殘金少かりし由なるが兩名には保護を加へ不日迎ひとして入京すべき家人に引渡さるべし

□『血を見るまで』＝[illegible]休載＝

讀者文藝（一等に五十錢 二等[illegible]を呈す）

△一口噺『其時々の事』

○拔作『斯う頻繁に斷水しては營業などは第一困るだらうナ』杏助『何故』『水商賣だからョ』（一等） 京城本町二 香海和尙

○八公『須磨寺遊園地の動物園の大豹が逃げ出して何處へ行つたか判明らんそうだ』與太『ハハーそれが猗玉[illegible]』 京城三坂町 三公生

[illegible] 京城 田中九郎

●水道復舊

夜間も給水する

過日來夜間斷水を爲し制限給水中なりし京畿道京城水道局にては三日午後より配水池水量平常に復したるを以て四日より制限給水を撤廢し夜間も給水する事となりたり

◉注射した犬の數

六月十六日より七月一日迄京城本町警察署管內にて施行したる狂犬病豫防注射を受けたる畜犬は總頭數一千三百二十頭の內其の以前に斃斃より注射を受けたるものを除きて總數一千百八十五頭ありたり

商況

債券現物特電（四日出來値）[illegible]

東京公債直取引電 [illegible]

深川在米特電 [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 [illegible]

雜報 [illegible]

●期正米と雨影響（十五六圓高）

●粟産地高と不況

障害鈔

殆ど百丁近く低落

先立見越

●官鹽値下と原鹽

十錢方値下

魚場向きの需用多

上高値を唱ふ 百斤二圓以

●棒鐵は昂騰

付漸く完了し得 未濟地の植

皮肉買

依然買物增加の兆

硬派の意氣愈々強

●內外のスッポン

下關相場

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 海岸町三丁目 電三〇九圓九一二

京城正米

京城雜穀

南大門の雜穀

生魚市場

仁川期米

▲四日前場（保合） 大阪天候

晝天 先十九圓七

十一錢と五錢高

大阪五節九十錢と

安移

▲依然保合

市場零聞

無事植付了

反つて雨を見て買物

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

四日の九月限 賣買取組高

仁川米豆取引所

小賣白米

白米標準値

▲天候回復乎否乎

降雨多き時は反つて惡

天候を買ひ又は全羅方面洪水

▲中限強硬

▲雨も一向利かず

安思の新規買物現る

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

▲募集規程

▲課題及募集規定

曇り小雨

◉此頃の濃霧と連絡船（上）

▽内地往來の苦痛＝濃霧は何うした者か

毎年梅雨季節前後に於て南鮮沿岸に發生する濃霧の爲めに航海業者は最も困難を極め殊に定期航海に從事せる關釜連絡船及び沿岸航路船の如きは多數の旅客をして旅行豫定の日時に異變を生じ彼等に蒙むる損害又た甚大なるからず一般の苦痛せるのみならず殊に各船を操縱せる船長の苦心は蓋し想像に難からざるものあるを以て測候所に於ても濃霧の發生に對する豫測並びに航海業者に於ても濃霧を豫知するを得べきや否やに就き其他濃霧に關する學術上の所見を聞かんと欲し記者は二日連絡船長及び釜山測候所長を訪ひ親しく説明を需めたるに八田測候所長は曰く

▲濃霧の研究

は曾て仁川觀測所長たりし和田博士に因りて數年前調査研究に着手せられたるが霧の發生する理由は同壓線の屈曲する場合即ち氣壓の傾斜が寛かなる際に於て潮流に依る氣壓の關係と季節とに因りて水蒸氣より發生するものなりとの學説は動かすべからざるも之れが浮動の理由、潮流溫度の測定、霧の發生方向を豫知し得べきやの根本理由は未だ研究を爲し能はざるが如く同博士の後任者たる平田所長に於ても一昨年以來專ら霧の研究を爲し根本理解を得んと調査せられ居れるも未だ確に之れを發表せる時機に到着せざるもの、如し

▲釜山測候所

に於ても夙に濃霧の調査研究は最も必要の事業なりと信じ又た當然之れが研究を爲し航海業者に對し豫報を發し警戒を加へしめ航海の安全を謀らんと欲し一昨年以來一層之れが注意を怠らず專ら觀測に努むるところあると雖も今日迄世界一般に於ても霧の研究を遂げ航海業者の危難を救濟すべき調査の材料を求むること難く只霧の發生すべき原因を學說にて示したるのみにて其以上に渉りての所說を公表せるものあらざるは科學の進步發達せる現代に於て甚だ遺憾とせる所なり

▲霧の發生地

としては全世界何れに於ても免かれ居れる地なく歐洲にては英國海峽の如きは最も激しく我日本に於ても東海岸即ち銚子附近より金華山沖に到る間北海道根室千島オコック海等に生ずる霧は殊に濃く

▲朝鮮に於て

は木浦群山方面より起りて釜山を經て雄基灣に達する海面に劇し沿く先づ釜山に在ては春季に入て三、四、五、六、七の數個月に渉り殊に六、七兩月は最も濃厚にして實際咫尺を辨せず、八月に至りては全く迹を絶ち其以後に於ては更らに發生を見ず今ま一昨年及び昨年並びに本年に於ける測候所の觀測に因る濃霧發生の狀態を示せば

大正四年 六月十七、十八日、七月十二、十三日
同 五年 六月五日、八日、七月一日、五日
同 六年 六月十四日

以上の如くなるもコハ測候所の觀測所在地に於て周圍を展望し得ざる程度に因るのみにして釜山港內及び港外に發生したるものは海上に發生し陸上殊に測候所に現はるべき調査表に示し居らず然るに釜山に於ける

▲濃霧の狀態

は陸上に及ぼす度數は僅少にして現に昨今の如く沿海に於ては去る二十七、八日以來毎日々沒後は濃厚なる霧の發生を見爲めに連絡船其他船舶の夜間及び早朝の入出に妨害を與へ居れるに徵しても其激甚なるを推知し得べく之れが觀測調査を爲し研究を遂げんと欲せるも奈何せん海上觀測は容易の業にあらず近頃總督府水産課に於て一汽船を以て海溫の觀測に着手せられたるを以て其成績の發表を待つて氣象學上に發せられんことを希望し居れり現今迄の觀測大家の學説に及び一般に承認する霧の發生する原因は傾斜誇き同壓線の範圍に於て發生し

▲暖流の衝す

水蒸氣の低氣壓の接觸して玆に初めて死滅を發し即ち霧となるものなれば快晴の日中には霧を見ることなく日沒後又は日出前地帶の冷却したる際に限れるを以て見るも之れが理由は明解し得べしと云へども猶ほ玆に暖流の關係が霧の發生する主なる原因とせるに對し浦鹽方面に於ても初夏の季節に於て濃霧の發生を見ることにして同地方沿海は既に暖流の及ぶ位置にあらず寒流の域に入れることに徵して學說の根本を破壞するに至るべくなれども今日迄は斯かる特種の研究は未だ調査の及ばざるが如し

濤の砂

●百餘の師範生 [illegible]

●調導の論究 [illegible]

●姉妹の島守 [illegible]

●揃つた父娘 [illegible]

●蚊の身代り 三木郡[illegible]村上[illegible]せん（二七）は二十六日夜蚊を[illegible]の中で[illegible]焚いて居る内火が[illegible]に移つて娘よ[illegible]（二三）と金次郎（二〇）の二名は大火傷を受けた

●雷に打たる 一日[illegible]島縣の西木[illegible]（二九）[illegible]七）が外二名の四人連れで海岸の[illegible]て居ると[illegible]前記の二人は落雷の爲め慘死を遂げた

●女の父を殺す 香川縣香川郡大田村[illegible]の川西彌之助（二三）は[illegible]坑夫として働いてゐる大分縣人木村彌吉（四二）の娘つれ（一九）と好からぬ關係があるのを彌吉が八釜しく言つたからとて三十日夜隣を一刺しにして殺した

●恐ろしい夫 東京赤坂仲之町[illegible]義久（五三）長女ゆき（二八）の内緣の夫にて元銀行員であつた小村千吉郎（四〇）は身持ちがよくないから離緣話を持ち出されたのを憤つて一日早朝短刀でゆきを刺殺し母さだ（四七）に負傷させ自分も自殺を企て瀕死に陥つた

◎女の寫眞と文を懷いて縊死す

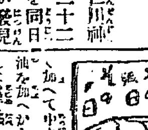
同日午前一時頃仁川日本公園仁川神社正面南側の東屋にて年齡二十二三歲の男が縊死を遂げ居たるを同日朝に到り公園內に居住せる某が發見し大いに驚きて此旨派出所に訴へ出たる者と思ひ込み斯くは仁川に來りて自殺したる者ならんと（仁川）

右の手紙に依れば松治はいねの色香に溺れて逐ひにお定まりの進退谷まり情死の相談をなしたる事あるらしく、女が果して自殺したるや否やは不明なれば仁川警察署より大阪京城本町署に向け照會を發したるが多分女は自殺すると言ひやりて逃走したるを松治は一途に女が自殺した

黑木松治

[illegible]

いねより



▲蕗の煮附 蕗を鍋に入れ手早くかきまわして茹でゆだつたならば取り出して水に浸し皮をむいてから適宜に切り水を切つて鍋に入れ醬油と煮汁砂糖を加へ油を加へ（て中火にかけ煮汁が半分程に煮つた時加へかきまはしながら味加減なし一寸たらした器で蕗をおろします蕗の葉も茹で〻胡麻油で炒るとなか〳〵結構にいたゞけます

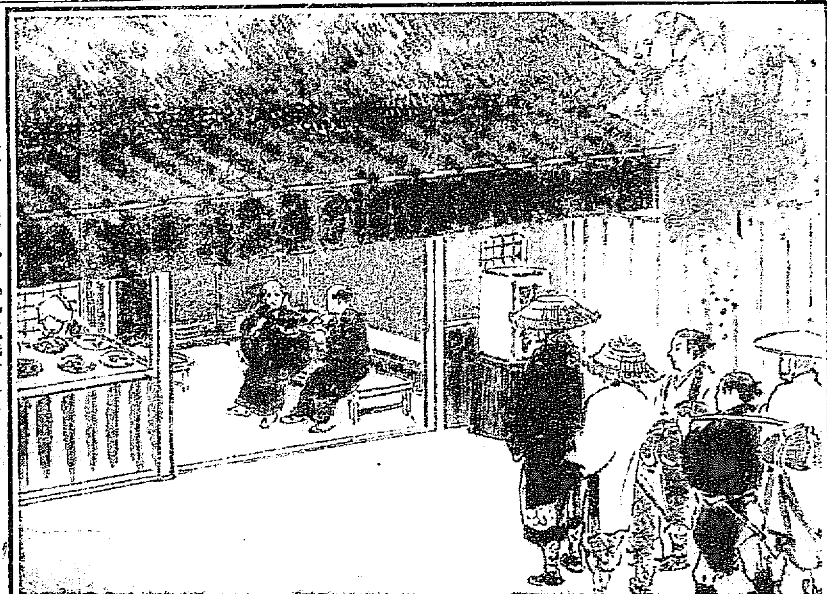
に、芝居相撲の半可通を振廻す關やといふ女角力のエッチャナ染みた艶消ありけり、壽島を一日見ろよりボッと來

◎恨めしきは「筏節」

―茶目君若島艶福の事―

「茶王子なんて緣起でもねエ」と、寫眞に强さうな若島と改名はしても持つて生れた洒落ツ氣は失せず、土俵の內外に師匠のない愛嬌を振り蒔いてゐるのが氣に入つたと、二三日前の晩、某る贔負の旦那が、若島の場所の歸りを喜久家に連れ込んだ時の事、席に侍べる妓の內、梅雨時と心得ての洒落でもあるまじきに、イヤに澁の生へた江戶ツ子な奇物

て、水の垂入つた四ツ相撲のやうに誰でも離れぬと寄り添ひ、變な眼付を送つてゐたるが、元來茶目公に出來上つてる太王の若島、仁王ル傑つた程にも感ぜず「これは東京へ何よりのお土産でゴンす」と跳ねたばかりの鴨緑江節を唸つてる始末に關やテレる事夥しく「一體鴨緑江節なんて誰でも無いものを誰が流行らしたんだらう」と焦々する內お開きとなり、その場は濟んだが濟まぬのは若島を思ふ胸の內家形に歸つて若い妓たちに惚氣散した丈では中々に思ひ切れず若島の泊る南光館に遊びに行つたが出發の神戶案內にあとでこゝでも思ひか逢せずに持つてゐた「鳳邑戲包み」を置き忘れたまんま、歸つて終つたが、その後先きの旦那が雨の日の徒然に若島を連れて千代本に行くと關やと朋輩の甲乙が『關取、鯛さんがあんなに思つてるんですから一度會つてやつて下さいな』と打明けたので、若島流より茶目公と離も好きな巫山に誘はうとしたが、宿に歸るや、どうかと思はせんで燕鮮後「明日の相撲よりは此の相撲なぞの手で行かうかい」と思案投首の末やつこ置き忘れた風呂敷の事を思ひ出し御話をかけると受話器を取つた媚しさうな聲が「一日の取組より此の相撲の勝負がいかにつくかと力瘤を入れてる者もありといふ



明君道中記

第百九十六席 田邊南龍口演

山賊强盜は勿論總て盜人の事を泥棒と申しますは何う云ふ理由かと申しますに昔し近江の國守より京都へ申して云ひ送りますには年々水口宿の天狗山に續いて田作に付き年貢御免を願ふと云ふ事を二十年續きました故京都に於て評議をいたし檢分として役人を遣はしましたが是から村內の百姓家を一軒々々取調べた處稻の束なれば稻をかつて積み上げてございまする、斯くの通り稻は實ませんと申し上げた時に役人がそのかつた稻を見ると二筋目から先へ目が出て居ります是を見て役人は考へて居りましたが古歌に

稻草は三筋のものを聞つるに二筋なるはひつじなるべし

惡うございますから稻と云ふものは勢の强いものでかつた跡から芽が又出ます今出て居る芽は皆ひつじであります、充分に米は出來たものと思つてそれより家々を搜索をすると凶作ではない上々の出來で何處の家にも米俵は澤山でございます、縣守へ賄賂を贈つて同通をして不作と申し立て年貢米を納めないのでございました、此の事露見をして縣守を始め百姓共はお所刑になつたと云ふ、乃で近江泥穗と云つたもので、泥穗泥穗、泥穗と申したものでございます斯く傳へ聞きます、近江泥棒と云つても一國のものが皆泥棒と云ふわけの者ではございませんが、然し惡い名をつけられたもので近江の國水口の館に於て長七郎主從大勢の山賊に出遇ひ、爭つて居りまする處へ後より飛込んで來た一人の侍、共に助力をしてその山賊を追拂ひました、三宅宅兵衞はホッと息を吐き 宅『アイヤそれなるお武家御助勢を下され千萬忝けなく御禮を申します 侍『踐て此處は物騷と承り夜道をかけて參りし處果して此場の仕儀、武士は相見互、賊共を追拂ひましたのでござる 宅『して其許の御腕前は天晴れ美事御姓名は何んと仰せらるゝか 侍『拙者は淺山三五郎と申して武藝を以つて諸國修業をいたすものでござる 宅『ハ、ア、然らば淺山一傳齋と仰せらるゝは御貴殿の事か 傳『左樣にございます 宅『御高名は豫て承り居る、手前儀は彼にお出になる松平長七郎の家來にて三宅宅兵衞と申すものでござる 一『左樣でござるか、浪人の身として勿き御方樣へお目通りをいたすは冥加至極、宜しく仰せ上げられ下さるやう』宅兵衞より申し上げますると長七郎君悉く御喜びになつて淺山一傳齋に御目通り仰せ付けられ有難き御言葉を賜り其夜は共々に水口の城下に參つて宿を取つた翌日一傳齋は御暇を賜り出立をいたします、長七郎主從はさして急ぎの旅ではございませんが其夜は此所に泊り翌日水口を出立して石部から草津の宿までお出になりました、長七郎宅兵衞に 長『コレ宅兵衞草津の宿には姥ケ餅と云ふ名代の餅屋があると聞及びしが其方存じ居るか 宅『然らば予を案內いたせ』と玆で姥ケ餅へ御案內を致しまする店には暖簾をかけ店先の上に木鉢が列んでそれに草餅が澤山入つて居ります、二組三組客が入つて餅を食べて居る、此の家の女房が手拭冠りで店に働いて居るそれへ長七郎はお入りなさいまして 長『許せよ 女『被入いまし、お上り遊ばせ』上へ上つて正面に坐し宅兵衞宇平次三次もそれへ坐す誂へものをいたしますと高杯の上へ小豆餅を乘せて茶をつけてそれへ持つて參る、長七郎その餅を召上り乍ら店先を頻りに見て居らしつたが 長『コレ〳〵宅兵衞彼處に餅を拵へて居る女が姥であるか 宅『イエ左樣ではございません 長『その姥は何れに居るのだ 宅『その姥のお話しをいたしませう』

▼山下紅療法の偉效（謝恩廣告）

私は別府から所用に來て居る者ですが永年腦病と胃腸病に苦んで居りましたが京城本町二丁目勸商場樓上の山下紅療法で十日許りで全快し尙私の外に澤田鍋道樂主人の疾及脚氣が三日間で本町二丁目下駄商井樂町岡本キク子が胸痛の爲め二日間の老母の乳房の痛が一回で去り永古城背堂氏始め山口太兵衞氏御夫妻も一濁の水も喉を通らざりしが一回の療治で水が飲める樣になりし見し實に其靈妙なるに驚きました、關繁太郎、梶原氏等も夫々効果を得られてから熱心に唱導され頭が輕く心身とも爽快になる療法ですから胃腸、脚氣、神經痛特に婦人病に苦む方は灸や禁厭などせず同一視せず馬鹿を見る氣で一度實驗されん事を御勸め致します。

京城本町旭館 小林豐藏

外科 花柳病 ひふ病 京城旭町一丁目[illegible] 更科本店裏 牧醫院

三世相

七月六日 金曜 本命九紫 五月十八日己酉 不成就

▲九紫 猿天狗の事有日讒訴 新規見合西方は吉 吉凶南▲一白 好ましからぬ事有日新事手控 吉事は吉 紹介酒印等を禁ず▲二黑 大利の日 轉居開業入學名弘求 旅探 病金件 婚禮等吉▲三碧 欣快の日 轉居入學金件名弘出 商業婚禮水利 利益財集 吉方は吉 凶事▲四綠 慈悲心の起る日 轉居入門金談 縁組 等吉 凶事 事業を計るに妙▲五黃 大力を願す日 轉居入學求 交金件延入 旅行取 山葉蜂 萬吉▲六白 厄介至極の事有日 新規手控等は吉 小兒 病に 水難注意▲七赤 いやな事多き日 新事手控 事は吉 婦人のせわ 休止勿れ▲八白 確實の日 轉居旅行 商 入學名 弘求 旅探 金件婚禮等吉 他に勝の日

口演藝案內

御成座

電話二一九一

▲現代新派喜劇一行 七月四日替り狂言（五日目）

▲一番 大悲劇 女の道 ▲二番 喜劇 一分間 二幕 十場

俳優名 ...[illegible]

黃金館

電話六五七

六月三十日より本館開館一週年紀念特別大興行 ▲山科大石妻子別れ [illegible] ▲[illegible]

早川演藝部直營 有樂館

東京小林商會提供 ▲[illegible] 新派悲劇 蒸坂慘殺記 ▲第六回『紫の覆面』 [illegible]

壽館

京城本町五丁目 電話一〇五〇三

巡業中の二代目桃中軒雲右衞門大一座近日乘り込み開演仕候

稻荷座

本町一丁目 當座本年五月興業に於て非常の好評を博し一先づ巡業し大阪地方浪花節の斗を行ひ滿洲各地に巡業滿々大歡迎を受け今回七月五日午後七時より再度當座に於て開演致し候間此段奉願候 前回同樣賑々敷御來車被成下度奉願候

大正館

櫻井町 電話八七三

七月三日より新寫眞提供（入場料普通）

日本活動寫眞株式會社特約代理店

[illegible]

期米 曾我商店

清心丹 懷中要藥 高木

胃腸最新藥 ゲスチン 東京本町 發賣元 圓城商店

年金 五ヶ年迄 恩給 五ヶ年迄 長期 大阪道頓堀大黑橋北 湊屋 替店 商品陳列館南ノ坂 京城永樂町一丁目 湊屋 京城代理店

土地參千五百餘坪及附屬家屋全部 京城府南大門通りより北米倉町に跨る（目下ファミリーホテル所在地）右賣却す希望者は至急左記の所に就き詳細了承せられたし 京城府明治町二丁目百五番地 電話 四一番 小川勝平

法人登記 抱川地方金融組合登記事項中變更一目的ニ左ノ壹項ヲ加フ 組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲ス事 右大正六年七月三日登記 京城地方法院抱川出張所

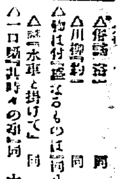
物品拂下廣告 第一號 入力車及附屬品 第二號 ゴムホース及タイヤ類 第三號 流込蠟燭 第四號 リネンシユランク箱入 右七月十六日午後一時京城稅關出張所ニ於テ入札賣却ス 大正六年七月四日 仁川稅關

●六月下旬氣象概況 [illegible]

[illegible] は同地方にては時々現はれて田畑を荒すとあるも未だ人畜の被害はなく[illegible]餘を距る）の田の中に一頭の大豺現はれ其處に放ち飼ひありたる豚を捕へ去りしが豚は驚きて一聲悲鳴を[illegible]て雌雄二頭なるもの、如しと[illegible]

[illegible]

表後一週間以內に薊券又は同案發表[illegible] 通告者には五十錢當籤券を呈す [illegible] ▲姓名は京城[illegible] ▲何番何號と明記[illegible]限る [illegible] 日報編輯局謎係



▲京城溫度 [illegible]

普く萬衆に誥ぐ

太靈道主元　田中守平

我、普く世界の萬衆に誥げん。今や地上の人類は其生存の意義を没却し、生命の價値を認識せず、遑々として生活のためにのみ奔勞し、遂に將さに人生の歸趨を愆らんとす。洵に現代には思想の中心なく、人生に就ての理解なく、絶對に對しての尊信なく、總て依據を失ひて唯だ徒らに昏迷の中に生を營み彷徨低り莫からんとす。誰れか現代地上の人類を指して諸れを是れ眞全なりと稱し得るものぞ。人々は悉く本能の慾を遂げんことに急にしてまた自ら内に省みて靈威を覺知するものあらず。斯くして人類は滅びの境に向つて進まんとしつゝあり。這次歐洲の戰亂の如き畢竟粟粒の一瑣事のみ。戰爭以外人類は自らの内觀より業に已に壞滅せんとす。戰亂は克復すべきも内觀の壞滅は回復すべからず。而も時代人は、人類は進歩せりと稱し發達せりと唱へて自らが唯だ塊然たる一物體として存在するに過ぎざらんとするを自覺するに至らず。竟に世を擧げて暗黑裡に投入せんとす。人類を其前途に横はる暗黑裡より救拯して光明界に導かんとするには須らく先づ人類の内觀を啓發せざるべからず。蓋し一切人類世界の事象は悉く是れ各人の内觀より流發し來る。則ち人類の内觀に光明を點ずるは軈て人類を光明裡に導く所以の唯一條の法程たり。而して過去世代に在りては内觀啓導の法程として宗敎なるものあり、佛敎、基督敎は此宗敎界の權威として永く人類の内觀を支配したり。然れ共現世代に在りては是等宗敎を以て人類を導き得べからず。其他哲學、道學、科學孰れも人類の内觀を支配する上に於て些の權威を有せず。斯くして人類は益々昏迷より昏迷に趨き暗黑より暗黑に轉ぜんとす今は正さに是れ人類の危機と云ふべきなり。併かも現代人は毫末も此危機を自覺することなく、殆んど精神的に痲痺し去りぬ。

此時に方り茲に天賚の靈音あり。我れ靈命を奉じて現世に生れ今ま地上日本東京を中心として普く世界の萬衆に向つて此天賚の靈音を傳へんとす。昨年晩秋東京に於て太靈道を公宣したるより以來まさに半歲、半歲の日子必ずしも長しと爲さず、而も此間に於て太靈道の門に入り來れるの人士踵を接して宛ら泉の決せるが如きものあり。地域に於て全東亞に亘り、階級に於て上下に迨ぶ、蓋し是れ太靈道の主張が現代人、心核の琴線に觸れて昏迷暗黑より離脱せしめ其内觀に光明を點ずるの靈威あるを以ての故也。而して今將さに此公宣を及ぼして全世界に洽ねからしめ以つて萬衆を靈的に救拯せんとす。萬衆よ！時代は推移せり。古き思想の衣を棄てゝ、當さに新しき思想の衣を著けざるべからず。徒らに舊思想の黑手に捉はれて新思想の靈活を味はざるは是れ實に新代人の恥とすべき所たらずや。萬衆須らく此超靈の靈光に接し此超限の靈澤に浴し將ちて爾が心身を改造し其本有の全眞を發揮せよ！

□人間には未だ人間自身に普ねく知られて居らぬ靈妙な作用が存在する。之を太靈道では靈子作用と稱するのであつて此作用の發露が顯動と潛動の二種に分れて居る。全く靈的に人體に發動して來る者であつて其靈子の顯動の場合には暗示もなく精神統一の要もなく端坐しても直立しても雜念や疑念が有ても夫等に少しも拘泥せずに唯だ一定の型式に依り自得（型式及び自得の方法は敎授書に明か也）する時は

□肉體靈感自動し來るものであつて老、壯、男女誰人にも實習することが出來る。其妙境に達するや肉體は輕快自在となり體が宙に飛び上り奇蹟百出の不可思議現象と、心氣の豁然爽快とは到底筆紙に盡すことは出來ぬ。更らに潛動の場合には本でも机でも火鉢でも何でも眼前に在るものに此作用を傳へるとそれ等の無機物が忽ちに自動し出して來る、本の如きも

□十冊位積み重ねて置いて之れに手を添へて靈子の作用を傳へると全部が自動する樣になる。導體不導體の區別はなく鑛物でも植物でも乃至動物にでも之れを傳へることが出來る。そして顯動潛動の靈子作用を行ふと不思議に健康になる。而も彼の部坐や其他の健康法の如く毎日長時間を要するといふことは繁忙な今の時代には誰にも爲し得る譯でないが、此の靈子作用は

□一日僅かに數分間の屬行に依りて心身に受くる所の效果は血液正循清淨となり、細胞の活動を旺盛にし、體内に潛める病毒を去り。病熱を除き體温の平順を保ち胃肉豐滿血色潤澤となり、頭腦明晰にして理解力、決斷力、記憶力等を増進し活氣横溢精力充實、活動奮闘の力を増大せしむることが出來る。此の作用は自分の健康に効あるばかりでなく家族近隣又は其外の

□他人の病癖を治することが出來得る。今迄に此傳授を受けて他人に應用し、醫藥効なき多年の慢性痼疾をして極めて短期間に快癒せしめた實例は多々ある。而して催眠術や其他の精神感應術の如き一時の氣休め的なものでなく、最も的確に効果を奏して居る、そして少しも危險弊害を伴ふことなき理想的療法であるとは修得者の一樣に感嘆する所である。而して靈子作用の體得は單に治病健康の爲めといふばかりでなく、此研究に依て人格が高尚になる、それはなぜかといふに靈子といふ今迄曾て知らざる不思議の作用を事實上に體得して應用して見ると、始めて

□宇宙の神祕に接し人間といふものが實に靈妙尊貴な生物であることが知り得られる。同時に尊貴靈妙なる自己生命の根本たる太靈を理信する樣になり、自然に靈想が涵發されて誰人も遂に高尚な人格を備へ來る樣になる、如斯にして心身強健、人格高尚、活動雄飛の偉大性を養成して

□人類を靈化し完人に啓導することが、即ち太靈道の大目的として居る所であつて、又た現代の要求である。

太靈道敎憲

太靈を信じ靈勅を奉じ、皇上を尊み國家を重んじ、親祖を敬ひ一家を理し、衆を愛し分を明かにし、生類を慈み萬物を育し、絶對に坐して差別を服觀し、妄りに信ぜず濫りに疑はず、至公至正常に眞稜を體得し、總てを超越して大度能く己れを持し、言説を愼しみ作法を倣ひ、禮を厚くし儀を整へ、溫情以て人に接し寛大以て他を遇し、節序を守り、時間を貴み、儉に居り業を勵み、一事一物苟くもせず、克く攻へ克く斷じ心を養ひ身を修め、精を蓄へ氣を磨き、靈性を顯輝し靈能を啓發し、不撓不屈、自彊自尊、七妄を去り三慾を滅し、全我に歸入して神格を體現し機を察し變に處し進止法に適ひ行動則に違はず、一旦事に臨みては毀譽を顧みず、身命を惜まず、邁進以て至眞を樹て至全を成ずるを念とすべし

●第十九期 靈子顯動作用講授會！ —七月九日開催—
▼會期五日間—定員外謝絶—前日迄に申込の事—

●靈子法夏期特別大講授會 開催
會期
第十一期 自七月十五日至七月廿四日 十日間　第十二期 自七月廿七日至八月五日 十日間
第十三期 自八月八日至八月十七日 十日間　第十五期 自八月廿二日至八月卅一日 十日間
▼各期共定員外謝絶す—主元直接に靈子顯動作用及び潛動作用を教授するものにして老、壯、男、女共に修得することを得、婦人の入門者多數に達する場合は別に婦人部を特設することあるべし。
太靈道の急劇なる發展は正さに時人の驚嘆する所にして、是れ實に其思想、學理、作用が具備鼎全せらるゝの故に出づ、殊に例月開催し來れる特別講授會の入門者は常に定員に超過するの盛況を呈し、到底從來の設備のみを以てしては是等多數の要求希望に應じ難からんとす。これを以て來る夏期には特別大講授會を開催し一般希望者をして入門するを得せしむ、而して主元の親敎に依る靈子顯動潛動兩作用の直接傳授は此夏期特別大講授會を以て一段落とするものなるが故に此以後に於て主元親敎の機會を得ること容易にあらず、されば太靈道の眞髓、靈理學の原理を解得し、同時に前代未發の靈子顯動潛動兩作用の玄妙を體得せんと欲する人々は須らく此夏期に開催する特別大講授會に入るべし。（詳細『靈界時潮』參照）

靈的修養界 靈的治療界の最高權威
●●太靈道は精神に安立を與へ●●靈子術は肉體に健康を與ふ●●
●太靈道及靈子術講授錄　頒布
無量の實質と無限の特色とを有する本講授錄は、今や現代修養界治療界の代表的著述として社會の各階級に歡迎せらる、内容最も懇篤平易簡明に講義敎授するものにして一讀直に高遠の靈想を涵發し、玄妙の靈能を體得することを得。＝詳細『靈界時潮』參照＝

●靈子顯動作用速修敎授錄　既刊
—老、壯、男、女何人も修得することを得—
絶妙有効なる靈子顯動作用を短時日に速修體得せしむる爲め此敎授錄を刊行し會員に頒布す、内容は一々寫眞版を以て説明し誰人にも一讀了解し得るを期す、既に本敎授錄によりて僅かに數分間時にして此顯動作用を自修體得し、驚喜感嘆の餘り謝狀を寄するの士頗る多し心身の強健を欲する人々、靈的研究に志すの人々、及び靈界に獻身努力せんと欲する人々は先づ此敎授錄に依、無前の靈能を體得すべし。＝詳細『靈界時潮』參照＝

●太靈道靈子療院京城支部　開設
＝支部に於て一般病者の爲め靈子療法施術を爲すと共に、希望者には靈子顯動作用を直接傳授す、但潛動作用は東京本院以外に於て直接傳授を爲さす。＝
▼京城府櫻井町一丁目三七、第一京城靈子療院
▼京城府櫻井町二丁目二一、第二京城靈子療院
＝注意＝『靈界時潮』は總て東京本院宛葉書にて請求せらるべし

宣道の爲め
七月十日迄に葉書にて申込次第
＝無代進呈＝
靈界時潮
＝重要項目＝
○思想界の大革命…栗田 哲學博士
○太靈道に入るの感想…石田 海軍少將
○靈子顯動作用應用
○靈子潛動作用の醫術上に於ける價値…牧 軍醫大監
○靈子顯動法實驗
○靈妙不思議直ぐに肉體が動き出す…東 靈風化
○天眼天耳
○太靈道入門手續細則
○靈子療法實驗及其効果其他數十項悉く靈辭靈句を以て滿さる
殘部僅少
部數限りある時は滿員の時は謝絶す
東京市麴町區一番町四十二番地
太靈道本院

京城日報

第三版

七月五日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢　郵税一ヶ月金拾五錢（三ヶ月分金二圓四十錢）
廣告料　五號活字十六字詰一行金八拾錢　二號活字八字詰一行金壹圓六拾錢
發行兼編輯人　奥田直介　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用　營業用　販賣用

朝鮮の郷土美（上）

鶴田棟村

一昨年秋、上野に美術院の展覽會が開かれた折、前田靑邨氏の數間に亙る朝鮮畫卷といふのが出た。新進の日本畫家の奇才でもあり、且緊張した努力せる作ともいふので可成り注目を惹き、問題にもせられた。西大門を主としたものであらう。城門を高處より看下せるものを中心として、左右に市場、密集せる鮮人の家屋を畫き、麻浦に出づる街道から龍山の一卷の中に朝鮮の生活を様々に表したものであつたが、悲しいかな自然の實感を基本とせなかつた氏の態度は、朝鮮といふものを除りに輕く取扱ひすぎたと思つたのである。素より畫は作者自身の主觀に出立するものなれど、眞の主觀は嚴正なる寫實の根柢に基いて居ねばならない。よく物を見る見ないは、要するに寫實的觀念の缺乏より來る。輕く取扱ふとか、皮想の觀察であるとかいふとは、取りも直さず强い愛念を感じない爲である。近來中央畫壇に、朝鮮の風物を紹介せる作物が多く表れる樣になつたことは悦ぶ可きことなれど、凡てが一樣に旅行者の觀察である。唯風俗の異り、色彩の變化に興味を感じた位で鋭い描寫を加へた物を一つも見當らなかつたことは常に遺憾に思つたのである。

崩れかゝつた土壁にしみじみと照りつく夕日の色を見、木の根に椅る老翁が深き額の皺、突角醜々として聳る北漢山の線、既に之れのみにても朝鮮の自然を表すには充分である。夕暮の一畫家に爲し得べき事なれど、之れを力ある藝術として生み出さるゝ尊い物になすことは單なる旅行者の腕に信頼を與へてはならないと思ふ。郷土と藝術、藝術が與へる國土の美的變化、又一人の藝術的人格が平凡な自然を如何に輝かすかに就いて感じたことを少しく書いて見樣と思ふ。

郷土に誇る可き藝術の無き程淋しいものは無い、藝術の無いのは直ちに其處に住む人の生活が、空疎であり感情の豐富ならざるを裏書する。又素朴なる農民の手工の如きものを見ても其處の人情自然が直覺的に感ぜられるとすれば藝術を骨董視すると同樣に、微細なるものに至るまで一視することは出來なくなる。

隣邦を奈何（十八）——對支國策を確立せよ

中島仁

對支活動の個人的要件（中）

邦人の支那に活動するに必要なる個人的條件の第二に擧ぐべきは、相當なる學問素養を有する事である。餘り不足ならざる程度の教育を受けたる人が揃つて居なければならぬ。然るに從來或は幾十萬の在支邦人をして一人の無學者なからしむるといふ事は、之を期するに難いかも知れぬが、殆ど總てが日に文字の一通りは辨じ、日本帝國民たるの自覺ある者であることを要し、而して其の在支邦人社會の中堅たる者は、少くとも中等教育以上或は之に相當する實業教育以上を經たるものであらねばならぬ。若し相當の教育があつて、或は地理歷史、或は動植物、或は法制經濟等の智識を有するに於ては已れの在留する支那の一部或は其附近の事物を、自己の有する智識を利用して研究し、知得し、判斷する事が、相當有効にできるであらう。吾人は彼の獨逸の地理學者リヒトホーヘン男爵の如き、博識の士が。永く支那各地を跋涉して、殊に山東の事情を詳かに踏査研究し、母國の爲めに貢獻する頗る大にして、其の調査に基づく意見乃至は資料が、獨逸の對支政策を動かす丈けの勢力を有したと云ふ事を、平生健羨に堪へず、願くば此種の人士の最も多く邦人中に出現せんことを希望して居るのであるが、せめては在支邦人が皆小リヒトホーヘンたるの心意氣を以つて、苟くも其の支那に於ける經驗智識は、纖細なるものと雖も、之を邦家の爲めに資料に供するの覺悟を以て、日常活動の間にも、細心の注意を拂ひ、研究的態度を持して、邦家に貢獻するを忘れない樣に致したいと切に望むのである。國家は官僚或は特殊の階級に獨する者の國家にあらずして、國民の國家である。總ての帝國民の一人一人が、皆其腦裡に日本帝國民たるの使命を意識し、國家の代表者たるを自覺して、初めて國家の事大に爲すべく、殊に海外、就中支那に在る邦人に對して、此の心を切に必要であると思ふのである。敎養ある人の多くが支那に赴かんことは、右の意味よりしても切要であり、急要であり、又支那人の尊敬を受けて仕事をする上に極めて有利なる資格の一であることを信ずるのである。

第●三●には●健●全●な●る●身●體●で●あ●る●を●要●す●。苟くも海外に赴き活動せんとする者は强健の人ならざる可らず。支那で働らく人は最も頑健なる人でなくては困る。日本の風土に較ぶれば、支那の風土は健康に適すとは云へないのである。北方は寒く沙塵多く、南方は暑く瘴癘の氣多し。天然資源の最も豐かにして、最も經濟的活動を必要とする揚子江岸の如きは、必ずしも健康地とは云へない。漢江あたりの夏季の暑熱は非常に甚しく、とても仕事が出來ぬ位である。長江赤痢といふ風土病をはじめ、熱病なども多く、且つ邦人の醫者が少なく、醫療に不便な爲め、一旦病氣に冒されば、洵に不安心でたまらぬといふ事であつて、病氣といふ事が最も在支邦人の恐るゝ所である。故に成るべく脾弱な人は遠く行く事を避け強健にして、病魔に抵抗する力の强き人が行くやうにしたい。日本人は總體に體軀矮少である故、兎角支那人より馬鹿にされるといふ風がある。體軀堂々として鐵石の如く、血色張ぎつたる人が到處に活動するといふ事が萬事につけ有利であると思ふ。

第●四●には●訓●練●せ●る●精●神●堅●實●な●る●性●行●の必要とす。動ぜず騷がず、正義の念に富み寛容の德を備へ、國民として[illegible]ければならぬ[illegible]權威を有すといふ事は、[illegible]は違ふのであつて、寧ろ克己自制の德がなくては權威を保つ事はできない。自ら制する事能はずして、他を制馭する事は能きぬのである。此點は日本人に[illegible]べき事であると思ふ。

夏の金剛山

丸山晩霞

（三）萬物相‖外金剛の新萬物相は、金剛新[illegible]奇なる峻嶺の形に[illegible]一器の石門に入らんとするところ[illegible]

登山の好奇心はこゝにて滿足する事が出來ない。如何にしてもこの絶頂に往つべく、各所の高峯に登り登攀路を研究した。そして漸く登路を發見し、絶險を攀ぢて終に萬物相系の正面大虛を衝てそゝり立つ絶頂の頂を究めた。これは數百尺の斷崖の頂で、新舊萬物相は築庭の小石の如く見ゆる。この頂より瞰下すると身震き肌粟を生ずる。登攀の記念として手巾を岩頭に結びつけた。これは新舊萬物相の尖針斷壁、奇巖怪岩を百千も集めて、奇中の奇勝地である爲て予は萬物相の名を命じた。萬物相入口の萬相亭に登攀路を認めし圖を與へて下山した。

誰（2）

布施生譯

金庫を開けに往つた鈴富は忽ち眞蒼になつて飛出してきて、ころ〳〵と側の椅子に倒れ懸りながら『大變だ金が無い、盜まれた』『何時の間にか出擱ひになつてゐた行員は云合はしたやうに椅子から飛立つた、五六人ばら〳〵と驅出して鈴富を取圍みながら『何だつて、金が無いと』『金庫破りかい、君』『金庫は破れてるのか』、鈴富は動顛した腑を擦りながら取が出して何處か外の處へ仕舞はれたんだ』。尤な説明に鈴富は、成程そうかも知れない、どうか左樣であつて呉れゝばよいと念じて少し落付きかけたが、又思返すと再び顏を曇らせて『そうぢやない、蛇度そうぢやない、僕が此係になつて五年になるが頭取が一人で金庫を開けられた事は一度だつて無いんだ、金の入用があると、夜中でも蛇度僕を呼んで立會はせられたもんだ』『兎に角早く頭取に報告しなけりやいかん』言つて居る所へ誰が知らせたか、頭取保部安人氏は急足に這入つて來た。

から、壞れちやゐない、金庫は確かだ』『それだのに金が無いのかい』『おい、鬪談てちやいかんぜ、金は元來有つたのかい』『有つたとも、今朝早く入用があるので十四萬圓昨日の中に揃へといたんだ、確かに百圓札を千枚、十圓札を四千枚、今往つてして見るとそれがないんだ』『可笑しい[illegible]

年齡は五十あまり、頭はやゝ白くなりかけたが血色のいゝ小肥りに太つた體格で、さすが大勢の人を使ふだけあつて臨々しい中に何處か乾然とした處があり、腹の大きい確乎した風は見ても氣持がよい。銀行の二階の事務室からは直に住宅につゞいて居るので、鈴富の報知を聞くや否や[illegible]保部氏の姿が側へ來ると、それと見て鈴富を取圍んで居た人々は[illegible]道をあけると、[illegible]氏はやつと這入つて[illegible]鈴富の前に手を擧けた、[illegible]中の人々も今日は[illegible]

[illegible]十四萬圓[illegible]昨日中央銀行から取寄せ[illegible]

[illegible]鈴富は[illegible]『[illegible]御座います』[illegible]『御の通りで御座います』[illegible]私は決して[illegible]氏は颯と顏色を變へたが氣を靜めて『己が出したと言ふのか、違ふ〳〵己は知らんよ』

日報歌壇

那古井滯子
逢ふ人も逢ふ人もなとふり返へり美しき少女の背を眺めゆく
紅き花の花瓣を綴りし汗に似し酒うるはしく瑠璃に充ちたり
淋らしき舞裝の袖ひぬれば[illegible]を中す國のしみ〳〵戀ひし
彼といひ彼の女と云へるふた株の幹も我れに淡しからむ

酒井凉光
物憂げに汽車の笛鳴る午後三時煙草を吸へり灰色の人

寢覺草
寂しくもいよ〳〵[illegible]の啼き盛雨も降らぬるのびゆくものか
ちりぢりの數にもあらぬ我故に忘られけむおほかたの日に
己がどち己が事のみ語りつゝなまめかしく去にて別れし

[illegible]

▲保合强硬　大阪兵庫共に入電なく十九圓七十一錢と押したるが大阪買物多く[illegible]

朝鮮彙報

朝鮮彙報　大正六年七月號（定價貳拾五錢　郵税二錢五厘）

主要目次

口繪
釜山第二棧橋、泗川新寨の城址
小鹿島慈惠醫院全景、金剛山の森林

與獄に對する總督訓示
道慈惠醫院長に對する總督訓示
面制に就て………宇佐美內務部長官
朝鮮に於ける陸地棉の產額增進に就て………中村技師
天佑の有無………村上文學博士
發電水力調査（承前）………遞信局

行政　癩病患者救療狀況◎全南の面吏員選奬及篤行者表の事績◎平南北道行政區域名稱一覽表
財政及金融　大正六年度朝鮮總督府追加豫算綱要
對朝鮮貿易◎四月中朝鮮經濟概況◎五月中朝鮮貿易
同朝鮮總督府醫院及濟生院特別會計追加豫算金額表
產業　工產物調◎桑田の增加◎下付樹苗成績◎優良稻の普及◎漆樹木の養苗竝木養成成績◎樹苗圃產コガ子ムシ類に關する調査◎商業會議所一覽
交通及土木　電話事業の過去及現在◎遞信事業概況◎五月中の鐵道運輸
學事　留學生の表彰◎普通學校教員朝鮮語講習狀況
研究資料　戰時に於ける經濟事情と犯罪の關係◎戰時に於ける特種犯罪
外國事情　朝鮮の漆器業に就て　滿潮
司法及警察　通信◎滿洲隨行日誌の中より通信◎雜報◎叙任及辭令◎統計◎法令及通牒◎判決例◎朝鮮彙報大正六年（自一月至六月）總目錄

▲投稿を歡迎す　原稿締切期限每月十日
▲販賣店　朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料　一頁十圓　取扱店　京城　ウツボヤ書籍店

日本飛行學校
飛行機講義錄
本校現況寫眞入リ　振替二錢切手封入即時御申込あれ
東京羽田穴守　日本飛行學校出版部

陸地測量部
五万分一
朝鮮地圖
小林又七朝鮮出張店
龍山漢江通六番地
既刊五百六十枚一枚七錢五厘　臨時土地調査局測量の分二色刷既刊百四十四枚一枚十錢送料五枚迄二錢　一切前金のこと　返信料を要す
電話五二〇　振替五一〇

太陽
外交調査會の內幕（縦橫解剖せる政界の表裏）………匿名學士
時局の印象………浮田和民
寺內內閣の強點弱點
戰時獨逸の兒童保護問題
工業上の戰後經營策
理想的海軍計畫
我が貴婦人は何をなしてゐるか
支那の統一と安定………內藤文學博士
歐洲戰亂と貨幣制度………山崎法學博士
獨逸文化の世界的影響………高楠順次郎
社會文化上より見たる赤星家入札
支那政界の人物
教育勅語（三則）
伊太利のア政策………米田實
本願寺論………東亜子
蠶動（小說）………村山勇三
母なき子（小說）………長田幹彥
七月號　定價三十五錢　東京本町　博文館

商業登記公告

支配人選任
京城府本町壹丁目五拾壹番地…………（以下判読困難）
商號新設
京城府南大門通……
合名會社……
京城地方法院

移轉廣告

總て御便利を圖る爲め本會事務所を中央の位置たる京城本町二丁目八十七番地（元千代本跡）へ移轉仕候間此段廣告候也
七月一日
朝鮮美術同好會

▲憲兵隊捕はる　[illegible]

第卅九回特別帝國議會

貴族院(四日)

▲決算總會と決議

貴族院は四日決算各分科會の審査を終了し假決議を爲したるに依り五日午前十時より總會を開き本決議を爲す可し(東京特電)

衆議院(二)

▲質問戰 (四日夕刊より續く)

斯くて廣岡宇一郎氏(政友)福田千之助(政友)の動議賛成演説に對し野村嘉六氏(憲政)關和知氏(憲政)の反對演説に猛烈に應酬の結果質問撤回動議に對する賛否を起立に問ひ多數を以て撤回せしむるに決し樋口氏『院議なれば遺憾乍ら撤回す可し』と自席より言明す是より日程に入り望月小太郎氏(憲政)の鄭家屯事件に關する質問あり▽本野外相『政府の答辯は誠意を以つて爲せりそれ以上は意見の相違なるを以て答辯の限りに非ず』と答へ次で根本正氏(政友)登壇小學校經費を國庫支辨に移す可きを力説し後小山東助氏(憲政)登壇言論壓迫に就て峻烈なる質問を試み言論の自由民意の暢達を説くや▽寺內首相『政府は言論尊重の方針を執れり只其間自ら自由の言動無かる可からず』と答へ六時十分散會せり(東京特電)

▲朝鮮關係説明

衆議院豫算分科會に於て朝鮮關係事項に關し鈴木政府委員の説明如左 朝鮮郵便貯金は中央政府預金部に繰入れ其金額四千萬圓に達せり此貯金は出來得る限り朝鮮殖産事業に利用しつゝあり簡易保險は數年前より總督府に於て研究中なり 官林盜伐事件は先般三井物産鑛山部員が約四百五十町歩に亘り價額一萬二千餘圓の樹木を盜伐し目下全部檢擧され取調を受け居れり(東京特電)

▲下院臨時休會

五日は衆議院本會議の日なるも臨時休會し豫算委員分科會及特別委員會の進捗を計る事となれり(東京特電)

張勲討伐軍組織計畫

張督軍の憤怒=奉天形勢激變か

張督軍は復辟實行に就て不安を感じ殊に政敵馮麟閣氏が現に張勲氏の下に在りて種々畫策する處あるより大に憤怒し從つて復辟に對する賛否を今に聲明せず同志の督軍間に電報を往復して張勲討伐軍の組織を企てつゝあり一兩日中に奉天の形勢或は激變すべしされど民間側は共和政府の叛亂多きに懲りて帝政復興を歡迎し黄龍旗を準備せる者多きも今日迄之を掲揚せず尚張督軍は其往復公文等には依然中華民國の文字を用ひつゝあり(奉天特電)

北京政局公電

二日午前八時北京日本公使館附武官發にて總督府へ左の電報到著したり

二日黎元洪は兵變の爲め止むを得ず位を竊み誤て國事を誤るも何等時艱を救ふ能はざりし旨を述べ更に共和成立以來續出せる種々の弊害を列擧し自ら罪を待ち再び大統を統べ生靈を救はんことを奏請せるが其質至誠に出で此國際危急大局動搖の際我が民をして之に親しましむるの先例を作り中國を救ふの策を立つるの功偉大なり依て黎元洪を一等公に封ず滿朝復興の際賛助に資する爲め內閣議政大臣を設け並に閣丞二名を置き其他中央政事議員は悉く宣統初年の官制に照して署理し現任文武官は依然在職せしむ

內閣議政大臣張勲、王士珍、陳寶琛、梁敦彥、劉廷琛、袁大化、張鎭芳、郭承、萬繩栻、胡士延(馮國璋秘書)外部尚書梁敦彥、度支部尚書張鎭芳、參謀部大臣王士珍、陸軍部尚書雷震春、民政部尚書朱家寶、諮德院長徐世昌、副院長康有爲、直隷總督北洋大臣張勲(但し北京に於て執務せしむ)兩江總督兼南洋大臣馮國璋、兩廣總督陸榮廷、湖北提督王延禎、湖南提督盧永祥、長江水師提督張敬堯、尚ほ此外各省に巡撫(特別區域に依然都統を置き)江蘇齊耀琳、安徽倪嗣冲、黑龍江[illegible](但し署理)、四川劉友厚、綏遠城都統王北洟(但し署理)、新任の外其他は現督軍及び都統を其儘任命せり

臨時閣議開會

寺內首相は四日午前八時十五分貴族院大臣室にて臨時閣議を開き本野外相より支那復辟の經過を報告し夫れより對議會策に就て協議する處ありたり(東京特電)

併鐵統一審査

樞府特別委員會

樞密院にては滿鮮鐵道統一實行に伴ふ關東都督府朝鮮總督府官制改正案に關し四日午後二時より特別委員會を開き內閣より寺內首相本野外相後藤內相出席愼重審査を爲せり(東京特電)

北咸 道廳移轉公表

咸鏡北道長官は三十日午前十時三十分鏡城各官衙長官道廳高等官各係主任列席の上鏡城下國良之助、大塚茂吉外鮮人十名羅南野口庄次郎、福島津次の諸氏に對し道廳移轉を正式に發表し尚ほ道廳移轉に關する右の覺書を交附せり

一、咸鏡北道廳移轉期は大正八年十二月

二、羅南市街經營に關しては大正六年度より地方費事業として着手し後日面制執行に適當時期に於て面の事業となす

三、市街經營事業は練兵場其他の軍用地を引受け道路、下水、水道、上水道を施行す

四、總督府に於ては左の事業を實施す大正七年度より鏡城簡易農業學校を公立農業學校に變更する事慈惠醫院に於ては時期を定めて醫員の出張診療を爲す

五、以上の外鏡城今後の發展策に就ては講究中に屬し今具體的に發布するの時期に至らず

六、鏡城より羅南に移住するものに對しては土地の購入、家屋建築用材の拂下に移轉費用の借入等に就て相當の便宜を與ふべし(清津)

對敵行爲監督

江原道金化郡遠北面獨逸人ウヱルヘルム、ブレンナの經營に係る鑛山業は對敵取引禁止令及び大正六年總督府令第二十六號に依り既許可鑛業權に依る鑛山の經營及び其の採掘したる鑛物毎月販賣價格金二千圓に達するの販賣取引及び右鑛物の採掘並に精鑛に必要なる取引を監督事業として今回江原道長官の特別の監督に付せられたりと

露貨整理策

近著のエコノミスト露都通信として露貨整理策揭載しあり論ずる所著々肯綮に當り傾聽に値する所少からず其の抄譯は左の如し

開戰以來露國に於ける紙幣流通額は空前の激增を示し延て露に對する外國爲替相場の激落は最近に至り殊に甚しきものあり露國朝野の人士は此の問題に對し深甚なる注意を拂ふに至れり蓋し一九一六年一月一日に於て紙幣流通額五十六億二千留なりしも同年十二月十六日に於て八十五億九千百萬留に增加し即一箇年約三十億留の激增を來たせり此の八十五億留の發行額中六十五億留は大藏省證券其の他の二十億留は英國に於て開かれたる『クレディット』を以て之が準備となせるものなり政府は大藏省證券を發行し之を帝國銀行に引受けしめ銀行は之に對し銀行券を發行して國庫に交付すると共に政府は戰時の仕拂として之を民間に散布するを以て戰爭の繼續し政府仕拂の增加する限り紙幣の流通額は益々增加して止む時なし斯の如くして露國は開戰當初に比し約五倍の紙幣を流通せしむるに至れり此の結果內國市場に於ける留の價値低落し物價の暴騰を來たすと共に又外國爲替相場も之に伴ひ激落を告ぐるに至れるは固より其の處なり若し外國よりの輸入貨物に對しては輸出若くは長期借入に依る外之が決濟の途なきを以てなりとす

一九一六年末に至り大藏大臣に外國爲替相場を定むるの權能を附與し以て爲替市場を支配せしめむとせり其結果は海外に於ける留爲替の低落を防止する能はざりしも少くとも留の投機賣買及び相場の低落を止むるの効ありたるは爭ふべからず之に加ふるに英國及び佛國市場に五十五億留の『クレヂツト』成立し尚同年六月日本に於て二億圓北米合衆國に於て二億二千五百萬留の露債を發したる等之を以て輸入貨物の決濟に充てたるに拘はらず露國內に於ては一九一六年中に約三十億留の紙幣流通額を增加し又海外に於ける留爲替の低落を防止するを得ず斯くして露國は戰爭終結の曉如何にして此の通貨問題を解決すべきやの問題に逢着せざるを得ざるに至れり最も露國に在りては紙幣の濫發により多大の困難を生じたるは從來屢々經驗し來れる所にして初めて紙幣を發行せる『カザリン』帝の治世以來露國の通貨史は常に厖大なる流通紙幣を如何に整理すべきやに對する運動の歷史なりと云ふも過言にあらざるなり

現露國紙幣の膨脹は百五十年前の夫れに比し更に甚しきものあり此の狀態を救濟せむが爲めに往時に於けると同一の政策を以てすべきや又は之と全然異なる新政策を以てすべきやは頗る緊要なる問題なり之に對し大約三樣の整理策あるが如し即第一は『ミリノフ』教授の主張に係り氏は[illegible]一九一六年十二月十六日號に於ける一論文に於いて曰く『流通貨幣に對する正貨準備は永久に之を廢止すべし』と氏の論ずる所に依れば[illegible]從來人間を支配し來れる經濟上の法則を全然破壞し去り古き貨幣の理論は今日何等の權威を有せざるに至れり再び金本位の舊に復せむこと到底望み得べからず貨幣の本質及其の職能に對する人心の思想亦全く一變せり即ち紙幣は夫れ自身經濟上獨立の地步を有し之を補充的のものと見做すべきにあらざるなり元來通貨の經濟的價値は通貨を構成する材料に存するにあらずして通貨の有する職能に存するものなり』と更に曰く『紙幣は一般貨物と等しく其の價値は[illegible]に依り定まるべきものなり[illegible]下に特種の發行銀行之に當り斯くして紙幣は[illegible]の需要に應じて發行せられ從て其の增減は一に市場の需給に基き全く商業的性質を帶ぶるに至れるものなり』と氏は又其の結論に於て『世界各國に於ける發行銀行間に協同を組織し且つ之に依り國際間の割引機關を成立するを得ば吾人は金も硬貨を用ゆることなく國際貿易を行ふことを得べく斯くして國際間の諸勘定は唯紙上の貸借に依り其の決濟を了するに至るべし果して然らむか戰後留の價格を低減し若くは巨額の正貨を蓄積するが如き手段を採ることなく容易に深固なる爲替相場を設定するを得べきなり唯此の議に對し英國の贊同を得るの困難なるを遺憾とするのみ』と述べたり此の思想は甚だしく革命的にして固より未だ一般の贊成を得るに至らずと雖從來露國に於ける幣制の整理が常に硬貨の維持を目的とし來れる常套手段を脫却せるの點に於て殊に興味あるを見ゆ

第二策は留價格の低減說なり此說は前世紀に於ても一たび行せられたるものにして現今之を主唱せるは『チユーガン、バラノフスキー』教授なり即ち氏は戰爭終了の曉銀行保有の金の量に應じ新に留の價格を定むべしと云ふに在りて多數の商工業者此の說を支持し又商工業者の機關雜誌『トレード、エンド、コンマース』盛んに之を鼓吹し居れり

留價格低減說の根據とする所は商工業者其の他一般人民は戰時中低き貨幣高き物價に相慣れたり今留の價格を人爲的に引上げむか其の結果一般商工業に大打擊を蒙らしむべく其の影響や計るべからざるものあらむ當時物價を戰時の平準に維持するは商工業者の利益と爲す所なればなり是彼等が戰後留價格の低減說を支持するに至れる主なる理由なりとす

第三策は現大藏大臣の意見にして留の價格を戰前の舊に復せしめむとするに在り之が爲には戰後巨額の內國債を發行し以て流通紙幣の回收を計り其の價額を高騰せしめむとするなり此の政策は戰時相場にて貨物を仕入れたる商人又は戰時中不動產に投資したる資本家に大なる損害を蒙らしむべし蓋し通貨の昂騰は勢ひ商品及不動產の暴落を伴ふものなるを以てなり而かも之と同時に此の政策の實行は都市及農村多數の消費者を救濟するの効あるは言を俟たざる所にして從て此の方面に多數の贊成者を有する所以なりさすれば第二策の如く留價格の低落を行はむか現在四十億留に上れる政府歲計豫算は七十乃至八十億留に膨脹するに至るべく之が爲今日既に負擔に苦める重税は更に加重するの結果を伴ふの一廢あり是第二策の都市及農村人民に喜ばれざる一理由なりとす

以上第三策の實行に關し『ソボレフ』教授の一雜誌に掲げたる意見に據れば『留價格の引上は紙幣流通額の減少に依るの外なく若し戰爭の終了と共に將來紙幣の增發を止め一面巨額の內國債を發行すると共に銀行及個人の囊中に在る紙幣は長期公債に變形して紙幣の流通額を減少すべし今假りに戰爭が今後六ヶ月(本年一月より總算し)以內に終るものとせば[illegible]

上掲第二節の如く留紙幣の價額を低減せむとせば[illegible]如何に之を調和せしむべきや今後注意すべき興味ある問題なり(譯者附言)

鮮銀決算

前半の成績良好

朝鮮銀行の大正六年前半期に於ける成績は目下決算中にて中旬に至らざれば其の詳細は知り難きも大體の狀態を聞くに上半の

▲朝鮮金融界 は必ずしも[illegible]と云ふ能はざれど下半期に入り五月に入つて一般の財界は頗る多忙となり乃ち朝鮮生產品の主要物たる米大豆の著しき暴騰並に輸移入品は概して値上りを見つゝあるに拘はらず其の貸出は旺盛を呈したるに付市場に於ける金利は引下げられしも市場に於ける所要資金の移動は著しく增大し結局銀行の收益を增したり

▲滿洲方面 は其の特產物たる大豆の世界的輸出上船腹の不足等よりなくされ各地に滯貨を多量に現出し居るため其等に對し貸出せる資金は期初及び期末とも大なる差異なく終始したるが此等の關係より前年期中銀行券の發行高も三千八九百萬圓臺を維持し前年同期に比すれば約一千萬圓以上の增加を告げ居れり又

▲露領浦鹽 及び哈爾賓兩店の成績は露貨相場の變動常ならず期初に於ては金百圓對百八十留位の建値なりしものが期末には二百三十留所に暴落したる等極めて危險多かりしに付此の間銀行の處置にして機宜を誤れば其の損害は蓋し免れ難き所なるも大體に於て營業當を得たため其の收益も少なからず旁々之れを總決算の

▲純益勘定 に見るに當期は六十二三萬圓を擧げ之れを前期に比するも約六萬圓更に前年同期に比すれば約十五萬圓の增加を示し居れりと

約手問題打合

京城商業會議所にては本月三日內地人側商業者の主なるものを同所に招致して現習慣に由る約手の自宅拂を變更して銀行に一定し以つて舊慣に伴ふ各種の弊害を打破し京城商取引の圓滑と敏速とを期せむ事を打合せしが銀行業者主なる取引者等來會者約三十名の贊同を得たれば會議所委員會にては更に五日午後二時より朝鮮人側の主なる商人を招致して同事件に關し各種打合せを爲す筈なるが目下此の舊慣を一掃して銀行拂の約手と變更するには最も都合好き時機に在り蓋し戰亂の影響船腹不足輸移入不如意其他の關係より商品豐富ならざるもの即ち或る商品に對しては或る一商店よりのみ取引し得るが如き狀況に在るもの尠からず即ち斯る一商店にして銀行拂に非ざる約手の受付を爲さゞる事とせば勢ひ小賣商人は銀行拂の約手に依り各種商品の取引仕入を爲す事と成る譯にして即ち內地人側商人の主なるものは一樣に此際約手支拂場所を銀行に一定するの急務なるを承認せる有樣にて一應鮮人側の贊同を得ば直ちに之れが實行方法を講じ銀行集會所に交渉を開始して之等特殊の約手に對する利子の値下げ等を提案し以つて商取引を利便にすべき豫定なるが目下京城府內に於ける鮮取引額に於ても一箇月五十萬圓を算せるが之等に對しても一應打合せを爲すべく內地人側に於ては年額三千萬圓の卸取引あるを以て月額二百五十萬圓內約手に出る取引額少くとも百五十萬圓以上を算する譯なり即ち約束手形利子の値下げ額些少なりとしても取引額の增大に從ひ年額數千萬圓の相違を生ずべく延いて物價の調節宜しきを得ること蓋し左したる難事に非ざるべしと

京畿 傳染病狀況

京畿道警務部衞生係にては管內傳染病に關し已に本年春季以來著々之が豫防方法を講じ殊に昨年に於ける患者發生地等に對しては特別なる注意の下に春季清潔法を施行せしめ消毒等に全力を傾注せしが爾來氷其他飲料水果物等の取締は勿論常に戶口調査を實行して大いに警戒する所あり各種傳染病患者數は例年と大差なきも是を管內人口の逐年增加を來せる割合に比すれば漸次減少の域に進めりと言ふも敢て不可ならず幸ひ本年は未だコレラ等の發生を見ず內地に於ても亦南鮮地方に於ても至極平穩の狀況に在り今後殊に梅雨中各種飲食物に相當の注意と節制を拂ひ各自豫防の方法を講ずる事の要必にして傳染病豫防上之に如くもの無きは言を俟たざる所とす今警務部衞生係の調査に由る管內傳染病患者發生數は本年一月より六月廿日迄の累計赤痢內地人二十六人鮮人九名外人一人計三十六人▲腸チブス內地人四十九人鮮人七十八人計百二十七人▲パラチブス內地人三人鮮人二十四人計二十七人▲猩紅熱內地人四十八人鮮人四人支那人一人計五十三人▲ヂフテリヤ內地人六十四人鮮人十一人外國人二人計七十七人▲痘瘡內地人一人鮮人一人計二人にして內京城府內に於ける患者發生數は一月よりの累計赤痢內地人十五名鮮人六名外國人一名計二十二名▲腸チブス內地人四十二名鮮人三十四名計七十六名▲猩紅熱內地人三十五名鮮人三名支那人一名計三十九名▲ヂフテリヤ內地人[illegible]を算し最近六月十一日より同二十日迄十日間に於ける患者發生數は管內合計に於て赤痢內地人十一名鮮人三名計十四名▲腸チブス內地人八名鮮人十四名計二十二名▲パラチフス內地人一名鮮人一名計二名▲猩紅熱內地人四名鮮人一名計五名▲ヂフテリア內地人四名外國人一名計五名なり同期間內に於ける京城府內の患者發生數は左の如し 赤痢內地人八名鮮人一名計九名▲腸チブス內地人四名鮮人六名計十名▲猩紅熱內地人四名計四名▲ヂフテリア內地人一名外人一名計二名

畜產組合設置

忠清南道公州郡一圓は從來各種畜產業の發達に伴ひ畜產同業組合の新設を希望し居りしが土地官民有志の斡旋に由り今回朝鮮重要物產同業組合令に據る畜產同業組合の設置其筋より認可せられ牛の生產賣買及び賣買の仲介を業務とし公州郡一圓を地區として公州畜產同業組合と命名せりと

南言北語

支那では何にか大事があると昔から何處からともなく種々奇態なものが飛び出してヤレ瑞兆だイヤ凶兆だと騷ぐ▲曩では宣昌から龍の化石が現はれて其れ聖人が出る前兆だと四百餘州大騷ぎに騷いで居ると▲洪憲帝の流產があつてオヤノ\/と一同呆いた事もあつたが▲今度も亦不思議な事が出來て支那人は騷いで居る▲昔から支那人間には黃河の水が澄むと大聖人が現はれ麥苗雙岐すれば天下大豐年であると傳へられて居る▲處が前月督軍連が天津に集つて天下が大分物騷になりかけた時▲黃河の上流より下流迄約二十分間位澄み切つて川底に泳いで居る魚の鱗迄も見えた▲之れは流域幾百里の河岸の人が皆實見したもので決した虛言ではない▲其れのみならず河南地方は大旱魃で草木も枯死しやうとするに拘らず▲麥秋になると所謂麥苗が雙岐處か三四岐になつて居るのもある▲サア大變キツと大聖人が出て今年は大豐年だと大喜びをして居ると▲忽ち時勢は引つ返つて復辟騷ぎ▲今にも血の雨や鐵砲彈の雹が飛んで來さうなのに人々はオヤ\/\/▲斯う云ふ時には必ずジッとして居れぬ例の倪嗣冲君と張懷芝君▲段祺瑞君が愈々復辟反對と叫ぶとサアむず\/して居れないで早速討逆軍を興すなんて所の人でなければ出來ない藝當だ▲今度は先づ此の樣に巧く督軍連を手中に收める事が出來るか否や面白い觀物だ▲獨逸の飛行船が最初倫敦を襲つた時なぞは▲其れツエッペリンが云へば泣く兒も止める程恐れて居たが▲此頃は射落した飛行船の外皮で作つたリボンが大流行▲若い女だちは飛行船の來て射落さるゝのを焦心待つて居る相な▲之ぢやツエッペリンも泣くのだらうが▲之を聞いた獨帝も苦笑して居るのだらう

光州

▲管理者慰勞宴 光州學校組合管理者松田德次郎氏は永年管理者として組合員の爲に[illegible]る所ありたり▲光州衞生狀態 光州に於ける現下の衞生狀態は非常に良好にして僅かに本年に入り傳染病九[illegible]▲光州決算 [illegible]會を終了せしが其營業成績非常に良好にして創立以來未曾有の事なりと因に定時總會を本月廿八日開會し[illegible]て取引契約を締結し若し騰落の場合と雖も双方異議なき事とし居たるに近來鯔の[illegible]するべし▲[illegible]師講演 三日夜光州日蓮宗布教所にて頂岳權僧正一行の講演あり聽衆二百に及び盛會

[illegible]鮮魚及び鯔の輸送は一時中止されたり(元山特電)

教諭轉任問題

[illegible]

急所

[illegible]しが四日三年[illegible]部に無期停學を命[illegible]八時頃又も嫉妬の喧嘩を初め某華女は亂暴にも其姉の急所を強く絞め上げ絶息死に至らしめ置き自殺した[illegible]せり(大阪特電)

◉天氣豫報 [illegible]

▽朝鮮ノ行政區劃一覽出ヅ▽

寺內總督閣下題字

新舊對照 朝鮮全道 府郡面里洞名稱一覽

大正六年四月一日現在總督府及各道廳ニ於テ一大廢合セラレタル府郡面里洞ノ調査ト相俟テ朝鮮全道ノ行政區劃ハ確定セリ然レドモ未ダ一目瞭然タルノ書籍ナク執務上參考ニ不便尠カラズ本書ハ道、府、郡、島廳及面事務所ノ所在地ヲ示シ沿革、新舊、鮮、清、西暦トノ詳細ナル對照年號ヲ附シ里數、各道ノ廣袤、交通、產物、名所舊蹟、溫泉其他ノ概況ヲ掲ケ戶口、人口、學者、交通、產業其他ニ關係ヲ有スル者ノ必携書ナリ部數ニ限リアリ諸賢速ニ購求セラレンコトヲ請フ

發行所 京城府公平洞五十番地 電話一四五〇番 中央市場

家庭及學校 七月號出來

第壹卷第貳號 定價廿錢 郵稅壹錢 半年六冊前金壹圓貳拾錢 一年十二冊前金貳圓拾錢

◎母親方に見て頂きたい教育雜誌

▽愛兒誘拐問題。其他拾數項……高橋幹事
▽よく子供を愛撫せよ……高橋幹事

▽兒童の愛撫 高島主幹

▽嬰方教授の立場より……廣田幹事
▽夏季衞生 蚊蠅退治……谷津博士
▽婦人の覺醒を望む……山脇博士

▽可愛い子供 新渡戶博士

▽善い讀物は何よりの寶 三輪田女史
▽愛を中心として教へたい 安井女史

兒童愛撫號

▽兒童本位の教育……藤本主事
▽愛兒の爲めに……教授諸氏

▽學校より家庭へ……教師諸氏
▽家庭より學校へ……父兄諸氏

▽學校と家庭の躾 樋口主幹

▽三太郎の功名(童話)……鶴山老夫
▽郷土の先生(小說)……三浦圖南
▽小學校の身體檢査問題(二項)……

▽小學時代の回顧……諸名士
▽夫婦和合は子供の爲 宮部幹事

◎教師方に讀で頂きたい家庭雜誌

發賣元 東京市京橋區南鍋町一 振替口座東京八五三三番 隆文館

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千〇五拾五萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)

支配人 西村道彥

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候
明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

書畫用品
繪絹紙類各種
萬年筆販賣修繕

京城永樂町二丁目 堀崎商店
電話一七四番 振替京城一〇八番

蠶生蠶出 龍山停車場前
蠶絲蠶種殼 ㊐ 日東社
電話長四五番

イゲダ小兒病內科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院 一二三四番)(自宅 八八〇番)

…所となりたれば組合員一同は卅日夜同氏を春の家に招き慰勞會を催し席上種々學校組合事務に就て研究す

…るが其筋に於ては一層衛生に注意する様市民に論達せり▲農銀營業成績　光州農工銀行は卅日を以て上半期…

●價値上交涉●　光州幽共同販賣所に…ては當初木浦木村健夫氏と生產者の間にて特等七十五圓以下此割合を以…契約を解くか又値上げを迫りしも要領を得ず郡當局に向つて其調節を依賴したるも多分木村氏は之に應せざ…

◉鮮魚、繭輸送中止　京釜線出水の爲め元山より內地行の…元山より內地方面へ…

…大阪高等商業學校中村敎諭轉任問題に關し學生一同より校長に對し辭職勸告を迫りて止まず紛擾を極め居り…

…基華（五）…本年二月中金氏（三）…入れたるを憤り常に…を逆として…風波絕わざり…去る二十三日午前…出張取調べの結果化けの皮を引つ剝れ殺人罪として新溪署に引致取調べ上檢事局へ送らる

◇夙に支那改革の雄圖を抱ける　康有爲氏

◇隠れたる復辟の發頭人　康有爲と清皇室（上）
光緒帝無二の股肱＝某支那通談

支那復辟の中心人物は無論張勳氏であるが其の張勳氏を說破して事の玆に至らしめた偉大な一支那人がある謂はゞ隠れたる復辟斷行の發頭人がある其の人は誰あらう久しく

■南方の草廬に隠れて　居た南海先生康有爲君其の人である康有爲君は早くから清國改革の張本人で自ら時流に超然として保皇會を組織し改革は宜しく先づ滿洲皇室を保全するの觀念がなくてはならぬ普通の革命黨の様に無謀な事をしては祖國を危ふくするものだと云ふ意見を持つて居てつまり支那の改革は朝廷の改革が必要だと云ふ一風變つた改革論者で

■最も皇室を尊重して　居た事から見ても今回の復辟に康有爲君が機の乘ずべしとあつて張勳氏を慫慂今日に至らしめた理由も略ぼ察するに足るのだろう然らば康有爲君と清皇室の關係は何の様な有様であつたかと云ふ事を話せば釋然として康君今回の行動が明瞭するのであろ元來康有爲君は非常な學者で我吉田松陰先生の開いて居た松下村塾に私淑して君の郷里廣東南海縣に小さな私塾を起し彼の梁啓超君を始め天下の秀才を其の門下に集め旗かに風雲を觀望して居たが光緒皇帝に發見され草莽の中より樞要の地位に拔擢されたが忽ち皇帝と肝膽相照して唯一人の股肱となり相共に政治改革の事業に取り掛つた之れが當時有名であつた

■『所謂變法自強の策』　で直に之が實行に取りかゝつた處が此の光緒皇帝を首惱とし康有爲君を參謀長にした革新派は一代の女傑西太后を首領とする守舊派と忽ち衝突し結局守舊派は光緒帝を廢しやうとする陰謀が隠然として來た或日康有爲君は光緒帝に謁して政治改革談の末『西太后は陛下を廢せんとする陰謀があるされば

■機先を制して陛下よ　り先づ發して西太后を圖られよ』と進言し帝の肯せざるを見るや大義名分を說き聲涙共に下る光緒帝も遂に動かされて玆に西太后を圖らんとする密謀が決定した其の手段は當時袁世凱氏が直隸總督として大兵を擁して北洋に傲嘯して居たので康有爲君は天津で袁氏と密會し陰謀を打ち明け袁氏の助力で觀兵式を行ふと云ふ名で直に北京に侵入すると云ふ迄の手段を立てた

◉慘死火夫は孝行者　汽車顚覆後報

三日午後十一時十八分大田著釜山よりの北行列車は途中水害の爲め線路に故障を生じ沃川に停留の已むなきに至りしより大田驛よりは客貨車各輛を連結せる臨時列車を特發北行せり然るに

▲大田鳥致院間に　ては何等の故障無かりしも鳥致院全義間は先夜來の豪雨にて遂に運轉不能となり已むを得ず大田に引返す際午前四時頃釜山より二百哩五十鎖鳥致院より約一哩の新坪川橋梁（十五呎）に差掛りたるに其時既に橋臺裏土砂流出し居りたる事とて機關車貨車二輛は

▲忽ち脫線顚覆し　後方の客車二輛のみは幸くも脫線を免れ乘車し居たる旅客十五名は無事なるを得たるも機關車に乘込める火夫方報武（二五）は右方水中に跳ね飛ばされ負傷し同見習柿木清盛（二八）は汽罐車と炭水車とに挾まれて壓死せり急報に接し大田驛及び大田建設事務所より保線掛職工等を召集し枕木、工事材料を積載急行せり

▲無慘なる即死を　遂げたる柿木火夫見習は鹿兒島縣鹿兒島郡谷山村の生れ萬次郎の三男にて大正四年五月大田驛機關庫に入りしが頗る精勤者にて將來を囑望され居たり死する二日前即ち二日郷里の父より金の無心を云ひ來りし由にて自己の貯金全部を引出し送金せし程の孝行者なりと（大田電話）

◉八年以來の豪雨
◇清州の出水＝鮮人一名溺死◇
◇道路橋梁破壞＝自動車不通◇

三日夜來の豪雨は一時も小歇みなく清州河川は氾濫し四日午前三時頃に至りて清州無心川の增水一丈二尺に及び橋梁の流失

▲家屋の浸水　夥しく前田忠北警務部長齋藤清州警察署長等は部下を率ゐて出動一方非常召集に應じたる消防夫等は各々部署を定めて危險の場所を警戒せしが出水益々甚だしく其の中央江に通ずる清南橋は三時過ぎ流失し又附近にある石橋は浸水二尺に及び其の他

▲橋梁の流失　せるもの數多あり依つて警察署員消防隊は淨水堤防の水門を閉鎖し濁水の浸水を防ぎたるが水勢彌が上にも加はりて光景は悽愴明治四十三年以來の出水と稱せられたり軈て午前六時頃に至るや雨漸く歇み漸次減水したるが此の間市中は警戒裝を出し筆にて一方ならぬ

▲混雜を呈し　たり被害は清水町居住徐相先（五三）なる者溺死し市街の浸水は市場町相生町旭町大橋町門外里等にて浸水家屋二百十六戸に達したり尚附近田畑の浸水は清州橋下流數百町步に亙りたるも出水比較的短時間なりし爲め農作物の被害は割合に輕微ならんと尤も道路の

▲破損は無數　にて從つて清州鳥致院間清州忠州間の自動車は不通にて道路復舊迄には數日を要すべしと（四日午後九時清州特派員發電）

△四日中には復舊　鳥致院全義間鐵道線路の破壞は全義隧道附近南方六個所に及びたるが四日夜中には復舊の見込なり今のところ北は全義南は鳥致院止めとなり双方徒步にて旅客及び郵便物の聯絡を執り居れるが旅客の多數は大田鳥致院全義天安に留まり混雜を極む又清州芙江間は清南橋陷落せし爲め交通杜絕せり因に清南橋は昨年出水の際にも流出したり（四日午後五時五十一分鳥致院發電）

◆豪雨のあと　―四日夕＝東大門外にて―

▲線路復舊　京釜線全義鳥致院間の鐵道線路破損個所は四日午後十一時復舊したるが

▲大田の水害　浸水家屋百餘戸　三日午後六時頃よりの豪雨にて大田附近の河川氾濫し警察より消防組出動し萬一を警戒したるに本町四十戸岐阜町四十戸其他四十戸浸水せるも死傷なし（大田電話）

之れより先き同日午後七時五十分南大門驛發釜山急行列車は平日の如く發車し全義に停車して復舊を待ち又同日午前十時三十分釜山驛發（南大門驛午後九時著）急行列車は鳥致院に停車し同じく復舊を待ちて何れも發車したり

□双兒を生埋め
■川堤でお產をして即座に■

平南順川郡慈山面龍淵里寡婦崔氏（四二）は多情の結果姙娠し此程成川郡成道面の親戚の家より歸宅の途中順川郡舍賢面倉坪里の川堤にて女性の双兒を分娩したるを即時堤に生埋めして歸宅しゐたること發覺し順川憲兵分遣所に檢擧さる

◉小火　三日午後三時五十分頃京城旭町一丁目岡田好一方風呂場の煙突より屋根に燃え移らんとせるを常備消防出動し家人と共に消止めたり

◉七月無門會　毎月第二土曜に京城商業會議所樓上にて禪海一瀾の提唱を爲し來れる無門會は五月は永源寺管長來錫の爲め六月は後藤老師內地巡錫の爲め休會となり居たるが今月も第二土曜は盂蘭盆に相當して老師に差支ある爲め來る七日午後四時より同商業會議所樓上に於て開催することゝなれり尚ほ今回は時日切迫の爲め通知を發せざるも多數の來聽を希望する由

◉飛降りて負傷　京城電氣株式會社の東大門行七十二號電車が三日午後六時半頃鍾路四丁目を進行中咸南北青生れ京城仁義洞洪鍾玉方同居學生李唐鎬（二七）が飛降りをなし前額部其他に打撲傷を負ひたるより附近共愛堂醫院にて應急手當を受く

◉片足を轢切らる　京城忠信洞電氣會社人夫孔壽命（一四）は三日午前十一時五十分頃鍾路六丁目にて電車線路の掃除中折柄進行し來れる九十六號電車に飛び乘らんとして足を辷らし車輪に觸れて片足を切斷されたる騷ぎに總督府醫院にて應急手當の上入院加療中なるが生命に別條なく三週間位にて全治すべしと

◉商品陳列館盛況　六月中總督府の商品陳列館觀覽は內地人二千五百三十七人鮮人八千五百四十四人外國人六十九人にて合計一萬一千百五十八人の盛況を呈し一日の平均四百二十九名なりしと

◉曹洞宗の達磨忌　若草町曹洞宗別院五日午後二時より敬愛會午後八時より達磨忌あり參詣隨意

◉妙心寺接心會　長沙洞臨濟宗妙心寺にては五日より九日まで五日間左の通り臨濟會員の接心會を修行する筈なるが禪道佛法に志あるもの來會を希望する由
一每夜七時半より九時半まで
■五日總參▲六日獨參▲七日總參▲八日獨參▲九日總參終りて總茶禮

□由緒ある靈蹟
龍澤寺の大普請

今年が白隱禪師の百五十年諱＝永遠保存の爲め『白隱會』の組織＝一口一圓宛の會員八萬四千口の募集＝鐵舟居士參禪の寺＝境內の見性木の事

◆伊豆の臨濟宗妙心寺派龍澤寺は今年が開山白隱禪師の百五十年諱に正當するを以て白隱會を組織して此靈蹟を永遠に記念することになつた◆其方法は全國の寺院又は居士大姉等から一口一圓宛の會員八萬四千口を募つて本堂『開山堂』『庫裡』『禪堂』『經藏』寶藏等の伽藍に大修繕を加へたり又は新築したりする計畫である◆京城では小原長官、森安師士、後藤瑞巖和尚、大村翠雲、阿部無佛兩居士等發起となつて會員の募集中である◆この龍澤寺は三島から約半里ばかりの幽邃閑雅な景致に富んだ處にある禪屈であるが◆今を去る百五十餘年前に白隱下で大器の遂翁徹紳の東嶺と呼ばれた東嶺和尚が開基建立して白隱禪師を勸請開山に仰いだ由緒ある靈場で法堂伽藍が整然として莊嚴を極めたものであつた◆御維新前後に至つては禪界の巨匠星定禪師が此寺の中興となつて大に臨濟禪の擧揚に努め彼の有名な山岡鐵舟居士の如きは此の星定和尚の峻嚴なる鉗鎚の下に養成された居士である當時鐵舟居士は參禪の爲め東京から馬でやつて來たものだそうな◆其熱心なことゝ云つたら土曜の晩から箱根を越ゑて玆に來るのであるが雲衲等が朝起きて鐵舟居士がモウ來るであらうと思つて居ると必ずやつて來る時には未だ起きぬ先にやつて來ることもあつて一山の雲衲が何れも舌を卷いて驚いて居つたと云ふことである◆東嶺和尚時代に或る雲水が托鉢より歸る途すがら公案三昧に入り覺わず山門內の大木に突き當りし途端大悟徹底したと云ふので其木を見性木と稱して山內の名所の一となつて居る◆尚ほ白隱會に入會希望の方は其々發起人に申込まれればよい

外科一般花柳病科　內科一般皮膚病科
普通及隔離病室完備　診察從九時迄
京城旭町一丁目（本願寺通りに入る）
島崎病院　電話二七三六番

防水布　ゴム引マント

雨覆　防水布雨具　テント　其他御好により如何様にも調製可仕候
精艶毛朱子ゴム引マント極上等　丈三尺七寸　十二圓五十錢　丈三尺六寸　十二圓二十錢（曲尺にて）
毛朱子ゴム引マント　丈三尺七寸　七圓二十錢　丈三尺六寸　七圓（曲尺にて）
金巾ゴム引マント　丈三尺七寸　三圓四十錢　丈三尺六寸　三圓廿五錢（曲尺にて）
京城明治町二丁目［電話一八三三番］　古賀喜商店

塗料船具油類金物
土工用器具及材料　雨覆天幕製作販賣　近江帆布會社製品　朝鮮一手特約店　同免許船燈　製作販賣所　旗印石油組合販賣所
仁川本町一丁目　村谷本店
支店　仁川府支那町　村谷石炭部　電話八一九振替京城五九番
平安北道義州城內　義州印刷所　電話四二振替京城九八一

昔　今
効能　効能で賣れる　七ふく　ひゑくそり
逆上を引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す
大日本大阪高津　本舗七ふくや　伊藤長兵衛
電南七二九・振替坂九七三

內科　小兒科　入院隨意
京城府龍山元町　渠野醫院　電話二〇四番

株式會社　朝鮮商業銀行
資本金壹百萬圓　諸積立金二十七萬餘圓
京城南大門通一丁目　電話五五八番・六八一番　振替京城一六三四番
一般銀行業　倉庫業
銀行長　趙鎭泰　支配人　豊田明敬
南大門支店　本町支店　仁川支店
平澤支店　群山支店　東大門出張所

最上醬油　鶴
品質佳良　風味本位
京城府元町二丁目　關西醬油釀造所
電話三九番　振替京城七三九番

內科　胃腸病科　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話一二三七　九二〇九番

質　京城黃金町二丁目入（永樂町停留所北入）　堀佐營業所　電話六三九番

眼鏡製作
今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候
米國製金張玉付　（甲）（乙）（丙）
京城本町一丁目（郵便局前）
中村メガネヤ　電話千百十七番振替京城三四六番

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓
▲申込後中途掲載中止の節は前金返戻せず▲六回以上の御申込は特に割引▲御照會は返信附にあらざれば回答せず▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

▲義太夫稽古本と流行歌本數一切取揃有　振三三　京城本町電二五一七　ウツボヤ書店　219
◉簿記係入用　商業に經驗ある者　京城本町一丁目電話二四八番　佐藤牧商店　239
外務員募集　有利なる業務　京城壽町八番地　新案國旗掲揚器製造販賣元　國誠社　240
◉牛乳配達夫入用　希望者來談あれ　京城西大門外冷洞七六番地　東洋牧場　電話九三六番　241
◉雜貨店員入用　但十六歲以上廿歲迄　身元保證を要す本人來談の事　島マエノ商店　235
◉代診看護婦及看護婦見習採用　希望者は履歷書送附ありたし　平壤泉町　齋藤病院　207
◉有給外交員數名募集す希望者履歷書携帶本人來談あれ　京城花園町一二二番地　中央金物新報朝鮮支社　234

番外
恩給年金長期即時立替　勸業債券（五分利）額面以上特別高價買受　銀行爲替付受　放資之好期不可逸　京城若草町百六番地電三千十一番　西村商會　154
鑛物各種分析　太平町二丁目三二六（電話二八三三）遠藤醬油店向側入る　松永分析所　200
魔法瓶及魔法瓶中瓶取替　京城本町一丁目　電話一三四番　高本旅行用具店　91

常務理事山田烈盛儀病氣の處去る六月廿八日死去致候間此段謹告仕候也
大正六年六月三十日
東京市神田區一橋通町
財團法人同仁會本部

花筐（はながたみ）

松田竹の島人作

（四五）

東京の本郷金助町の、荒物屋の二階を借りて、自炊で其日を送る年頃三十恰好の男があつた。

移轉して來たのは、三月ばかり前のことで、何處といつて勤めるではなし、毎日机に向つては、何にか書きものばかり爲てゐた。所有の道具といつては、インキの浸みのある穢い机と、西洋綴の書籍が十五六冊と夜具と、外に凉爐と土鍋位でこれといふ目星いものはない。そして服裝だからといふて、見すぼらしかつたから、荒物屋では二階を貸しともなかつたけれども二箇月分の部屋代を前金で貰つたから、其爲めに貸して遣つたのであつた。

二階は六疊の間で、天井が低く、窓が高い上に、其障子が煤けてゐたから、室内は薄暗くて陰氣であつた。雨期の六月下旬とて、二日卅糸のやうな雨が降り續くので、何にもかも濕氣を帶びたやうであるのに、汚れて黒ずんだ疊は、一層じめ〳〵として坐るに心持が惡るい程であつた。荒物屋の主人は、ギシ〳〵と厭やな音のする梯子段を昇つて、

『早見さん居ますかね？』と障子の外から聲をかけた。

早見と言はれた男は、窓の下で机に向ひ、ペンを走らせて、何にか頻りと書いてゐたが、入口の障子の方を向いて、

『居ますよ。何にか要ですか？』と應へた。

荒物屋の主人は、早見の應へに由つて、其居ることが確められたので『御免なさいましよ。』と言つた、障子を開けて入つて來た。俗に鍵辷りといふ位に頭が禿げて、そうしてていか〳〵光つてゐた。

早見は、机の上に、ペン軸を擱くと起ち上り、敷いてゐた古い白毛布を擴げて

『さあ切望御坐り下さい』と愛想を言つた。

暫く床屋にも往かないと見えて、頭髮が蓬々と伸びて、鼻下と顋には髭が穢らしく生えて、色が蒼く、何んとなく病人じみてゐた。

荒物屋の主人は、毛布の上へ坐つて腰から煙草入を抜き取り、煙管筒から眞鍮の煙管を出すと、早見は傍の角火鉢を押し遣り、そして燐寸を出した。角火鉢は縁が一箇所取れてゐた。中には卷煙草の吸殼や、燐寸の軸が散亂してゐた。

『什麼もよく降るぢやありませんか。愁う降られちや全く困つて了ひますよ。』と荒物屋の主人は、先づ降り續く雨の不平を言つて、燐寸で煙草を吸ふ。

『天氣に爲つてくれると甚麼に助かるか知れませんがねえ』

『第一夜商人が、商賣が能きなくつて甚麼に困つてるか知れませんや、尤も今降らなくつちや、百姓は困るでせうが、東京に居ては、其麼ことには關係しませんからねえ……時に早見さん。』と荒物屋の主人は言葉を改めて、

『未だ部屋代を貰う譯に往きませんでせうかね？。何誰へ御貸しするにも前掛ひといふことに爲てあるんでしてね。ですから貴方にも最初前掛ひで二箇月分を貰つたやうな譯で今月は最う二十五日だといふのに、掛つて下さらないと爲ると、困つて了ひますがね。何にも道険催促がましいことは言ひたくないんですが約束通り正然と爲とかないと、氣が濟まない性分でしてねえ。』

『什麼も延引して濟みませんです。近日内に金が入る筈に爲つてゐますから、入りさへすれば、直ぐ上げますから。切望それまで御待を願ひます。』と早見は言ひ惡くさうに言ふ。

牛乳　病院御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九番

◎宮中の電話

宮内省で朝鮮型の燭臺を廢して御殿から省中全部に渡りて電燈を据え付けたのは大正初頭の改良の一つであつた。處が今回は省中に幾多の私設電話を据付けて今月一日から其れが實施されて

△大概の事は其の電話で以て辨ずるやうになつた、其架設電話を見ると上は皇宮職、侍從職、大臣、次官、各部局長、官室より下は使丁部屋に至る迄要所要所には大概此を設けて殆ど漏す處はない其中にも『御車寄』『東御車寄』『北御車寄』等の

△重要の處に常設して例へば行幸啓の場合の如き國賓參内の場合の如き何で急を要する時に直ぐ電話で辨ずる樣にしたのは頗る其當を得たものである殊に皇宮職、侍從職等所謂大奥向きと『御車寄』との距離は長い

△廊下を迂餘曲折してザツト物の四五丁もあらうが其れを仕人など急ぎだからとて往復したこともあつたのが今月よりは其れがチリンと一鈴を鳴らせば

△目的の處に通じて御用を辨ずるとになる此の新しい試みの本家本元は省中の事務家といはるゝ調度頭男爵小原駐吉氏である

京城府明治町二ノ三二（元貸業會社跡）　花柳病　皮膚病　須古醫院　電話一一〇二番

□一日一句

捧ち競ふ白衣狹霧の柳川　鳥兎

里芋の莖尺に延びぬ蚊の宿り　白紅

訪ひし人の町に移りて柿の花　浩一郎

茂る此頃を妹が眼を病み醫師の來る　潮村

□春川より　天然

九年振にて當地に出張、總て面目を更め、殊に溫突に泊りしを追想し、感愈深く候。

荒蕪地に見るや礦のあげ雲雀

新刊紹介

●贈正五位乾十郎事蹟考（武岡豐太編輯）乾十郎は明治三十一年七月特旨を以て正五位を追贈せられたる大和天誅組の志士なり然れども未だ世間周知の人に非ず空しく英名の草裡に埋まりしを著者に依て今新に世上に紹介さるゝに至れり元來著者は古今勤王の士の樓閣に委せられて空しく千歳に朽んとするものあるが多少部に有し小說等瑣事と雖も努めて之れが收集研究をなす等當代稀に見るの士なり而も其の身の實業界にあるに於て更らに其の好學に感ぜずんばあらず愛國勤王志士の跡を尋ね之に親しむもの亦勤王の士たるを失はず乾氏の英魂亦地下に著者に多謝する處あるべし（非賣品）

涼み臺

◇議會の食堂　議會が開かれると、食堂の西洋料理や日本式の牛鍋などの賑から、大氣焰小氣焰が例によつて盛んに賑はふ在野時代は、食堂に來て牛鍋を突つく人達も大臣となつては、奥の室に引込んで出て來ない、たゞ話好きの原さんは大臣時代などもその食堂に來て三十五錢均一の牛鍋を突つく牛鍋の好きなのは尾崎行雄さんで、西洋料理は一向食べたない◆家庭で奥さんと共に毎々洋食が食ひ飽きて居るのだらうと云ふ下馬評だ『日本酒二合也、御飯一人前、ロース二人前、しんこ一人前右の通りに候也尾崎行雄』は面白い

◇少將の合唱　これも帝國海軍聯習艦隊が舞鶴に行つた時、若村司令官が土地に往つて未だ日本を知らぬ兒童を收容して居る小學校を參觀した處、無邪氣な小供は直樣聲を揃へて『君ケ代』を知つて居るかと尋ねて唱ひ出したので、少將も谷口艦長も候補生も感極まつて涙を催しながら子供と一所に合唱したといふ

讀者の領分

△六月廿六日京元線車内に腐敗せる辨當を賣り居り車掌も其腐敗せるものと認め注意を與へ居るを見受けたり旅行者は注意せよ（實見生）△新歸朝者よ日本人は土足の民にあらず靴を脱ぐは礙なり決して恥とはならず船室内に脫帽は吾人の礙なるも鮮人に對しては礙冠を認容する如く土足の民に對し特別を取扱を爲したる當局の措置は咎め立てする程の事にあらざるべし（公憤生）△此の頃蓬萊町鐵道踏切石橋附近の路傍で鮮人寄り集り臭氣甚だしき魚類を販賣する爲め通行困難甚しく丸で市場同然だ其筋の取り締りを乞ふ（見兼太）△制服に帶劍のまゝ傘を翳して行く人を途上往々見ることあり帶劍のまゝ傘を翳すは全くバツクと云ふより外はないチト謹まれたし（和製のハイカラ）△過日京元線で乘客の内地人が二人の朝鮮人を虐待して居たのを見たが朝鮮人の怒るのも無理だが汽車中の事だから互に謙讓が必要だ兩方が注意して居れば彼の樣な事も出來ないのだ（同乘生）

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛版　最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と懇切を旨とし御需に可應候　京城日報社寫眞製版部

商況

下關期米特電

大阪期米

四日前場　當限寄付二十二圓五十九錢△中限寄付二十三圓三十九錢△先限寄付二十三圓九十錢

十九圓二十五錢より八錢引先十九圓七十一錢と四錢高に寄付たるも賣物多く六十八錢と押したるが大阪勝ち二圓二十四圓丁度三錢十一錢と更に新高値移りし賣物現れ七十九錢と押したるが賣物多く四錢と押し大阪兵庫東京の後寄入電に接し八錢と返して敗會を告げたり市況は依然正米界の強硬を控へたるし人氣は頗る强び乍ら大…

▲一　同店の賣二千餘石買千餘石
▲二　同店の賣千餘石買二千餘石
▲三　同店の賣千餘石買千餘石
▲四　同店の賣千餘石買四千餘石

▲天候晴模樣　久敷陰晴を極めたる天候も昨夜の降雨にて一變したる者なるか後場引後に至り漸く…

後場寄付　四日の九月限　十九圓七十一錢　十九圓七十八錢

賣買取組高　七月限　三千二百五十石　八月限　四萬四千二百石　九月限　一萬四千八百石

兵、補助員金仲換の兩名を射殺し上等兵に重傷を負はせ補助員を即死せ…

中元御贈答品賣出　七月二日より　京城　三越呉服店

御手輕にして重寶なる　三越の商品券　東京、大阪、大連、京城の各店共通　壹圓以上何程にても發行仕候

袖珍　宇佐美内務部長閣下題字　小原農商工部長官閣下序文　京城日報社編纂　府及學校組合法規提要
内容　勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制、府制及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して遺さず就中卷末に附したるものは最近七月に發布せられたるものまで收めたるを以て府及學校組合議員其他關係者たる内地人、朝鮮人に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也
裝幀　携帶に便ならしめんため紙數は三百餘頁總洋布天金製本を袖珍とし文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せしめため毎頁上部に一寸五分を餘白とし紙を綴込み更に卷末に白紙を附して用意の一端を窺ふに足る
▲定價金壹圓廿錢　送料本社負擔
大賣捌元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

"PINE"　是れ！是れ最高能率を有し眞に理想的なパイン萬年筆を直ぐ御買ひなさい!!
◎附言パイン萬年ペンは自然の破損及不具合の節は滿一ケ年間交換及無料修繕　◎大日本政府登錄　米國製金十四金「イリジーユム」付ペン（責任保險付）
完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕　東京パイン萬年筆出張所　京城旭町二ノ六
堅牢無比　發賣元　京城日報代理部　振替京城三〇〇番　陳列所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

藤澤樟腦　梅雨中は殊更鍾馗印を絶へさぬ樣御注意肝要

心臟脚氣　特効藥　ヘリヘチン　特約店　京城府太平通二丁目三〇五　キムラ藥房

花柳病外科專門　◎梅毒◎淋病◎横根◎軟性下疳◎痔疾◎淺尿生殖器病◎婦人病◎神經病◎肛門病◎皮膚病◎ヒステリー　京城南大門通第一銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

最新刊　化學工業
新式問答寶典　信權者の法律顧問　新譯韓非子　進むべき道　支那の成語　日本美術史講話　新譯碁敵鑑　政治百話

浮城物語　宗演禪話　一喝禪　徹底禪　無我の生活　歌仙講話　酒道の秘訣　一行禪話　ペン手紙と葉書書方

大阪屋號書店　京城本町一丁目

醴泉金泉間自動車發着時間
金泉驛織居自動車支部

仁川共同汽船仁川出帆　第廿一共同丸　○芝罘、大連行　七月六日午後入港　七月八日前十時出帆　仁川代理店　野口商會　仁川共同汽船株式會社　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

尼崎汽船仁川出帆　群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　○君が代丸　七月　日後四時出帆　○大有丸　七月五日後四時出帆　○秀吉丸　七月　日後四時出帆　○神代丸　七月　日後四時出帆　仁川海岸通一丁目　電話五十九番　尚杉回漕部

日本郵船仁川出帆　○大連行、太沽（天津）牛莊行　相撲丸　七月廿六日正午出帆　高砂丸　七月五日正午出帆　三河丸　七月十五日正午出帆

汽船釜山出帆廣告　門司、神戸、大阪行　○和歌浦丸　七月十二日後五時出帆　○立神丸　七月廿三日後五時出帆　元山、清津、浦鹽行　○立神丸　七月廿二日後十時出帆　○元山、西湖、新浦、城津、清津行　神丸　七月十一日後四時出帆　門司、神戸、大阪行　第三平安丸　月　日後六時出帆　佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆　釜山港埠頭　大池回漕部

大阪商船仁川出帆　神戸、大阪行　臺東丸　七月十四日　安部丸　七月十六日後二時出帆　神戸、大阪行　仙頭丸　月　日後五時出帆　木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行　安東丸　七月五日後二時出帆　安東丸　七月卅一日後二時出帆　横濱行　福州丸　七月十五日後二時出帆　南浦行　南都丸　七月十四日後二時出帆　臺東丸　七月十一日後二時出帆　鎭南浦、大連行　安東丸　七月十日後二時出帆　安東丸　七月廿六日後二時出帆　大連直航　福州丸　月　日　正午出帆　西湖津新浦城津清津行(元山出帆)　宮島丸　七月十日後十二時出帆　宮島丸　七月廿七日後十二時出帆　上海、基隆、打狗行(大連出帆)　湖北丸　七月廿三日前五時出帆　基隆丸　七月七日後四時出帆　大阪商船會社仁川支店　切符發賣所　内國通運會社京城支店　切符發賣所　仁川京城通り　開豊旅館